

#### 4. 東区西大寺パン用小麦栽培（吉井川地区：岡山県）

岡山市東区西大寺地区は、岡山県内最大の米と小麦の二毛作地帯である。小麦は 1980 年頃から栽培されており、地区内の作付面積は約 600ha と県全体の 6 割強を占める。これまでは、麺用小麦「ふくほのか」が栽培の主流であり、栽培の難しさや気候が適していない等の理由から、パン用の小麦栽培は行われていなかった。しかし、農研機構近畿中国四国農業研究センター（現西日本農業研究センター福山市）がパン向けとして開発、品種登録した「せときらら」が西日本の気候に合い、県内外で普及しつつあったことから、2022 年に地区内の 4 戸の農家 4ha で作付けが行われた。次年は 5 戸の農家 12ha で作付けが行われ、作付面積を 3 倍に広げた。

せときらは、栽培条件が良ければ輸入のパン用小麦に近い特性が得られ、アミロース含量がやや低く、もちもち・しっとりとした食感のパンが作られる。また、製粉歩留やミリングスコアが高く製粉性にも優れている。栽培適地は関東以西の平坦地である。

従来、国産の小麦は収穫時期が梅雨と重なり、品質や収穫量が安定しにくいとされ、国内消費量の約 8 割を輸入小麦が占めている。一方で、現在は輸入小麦の価格高騰により国産小麦の需要が高まっていることもあり、西大寺地区では、段階的に面積拡大を図る意向である。そのためにも、製パン業者ら実務者が求める品質に仕上げるため、西大寺営農センターは生産者に追肥や適期収穫等を呼びかけている。

耕地面積：小麦 12ha（5 戸農家合計）



小麦



小麦 収穫の様子

資料：山陽新聞（令和 5 年 3 月 9 日）記事、農研機構研究成果パンフレット「せときらら」、  
農林水産省 HP

## 4. 社会経済情勢の変化

### 4.1 人口・世帯数の推移

関係市町の総人口、世帯数は、ともに増加傾向であり、増加率は岡山県を上回る。

関係市町の人口は、平成22年（2010年）の844,095人から令和2年（2020年）の849,343人へと、10年間で5,248人増加（1%）であった。

岡山県全体では、平成22年（2010年）の1,945,276人から令和2年（2020年）の1,888,432人へと、10年間で56,884人減少（3%）であった。

関係市町の世帯数は、同期間で344,937世帯から376,909世帯へと31,972世帯増加（9%）しており、これは岡山県全体の傾向と同様である。（表-4.1、図-4.1、図-4.2 参照）

また、市町別の特徴では、岡山市では人口、世帯数ともに増加、瀬戸内市、赤磐市では人口は減少、世帯数は増加、備前市、和気町では人口、世帯数ともに減少している。

表-4.1 人口と世帯数（関係市町、岡山県）

市町村名		人 口 （人）				世 帯 数 （戸）				備 考
		2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	
数 値	岡 山 市	696,172	709,584	719,474	724,691	282,834	296,790	309,409	327,620	
	備 前 市	40,241	37,839	35,179	32,320	14,335	14,136	13,878	13,486	
	瀬 戸 内 市	39,081	37,852	36,975	36,048	13,363	13,343	13,839	14,068	
	赤 磐 市	43,913	43,458	43,214	42,661	14,749	15,274	15,730	16,439	
	和 気 町	16,180	15,362	14,412	13,623	5,468	5,394	5,236	5,296	
	関係市町 合 計	835,587	844,095	849,254	849,343	330,749	344,937	358,092	376,909	
	岡 山 県	1,957,264	1,945,276	1,921,525	1,888,432	732,346	754,511	772,977	801,409	
指 数	岡 山 市	98	100	101	102	95	100	104	110	2010年(平成22年)を100とした指数
	備 前 市	106	100	93	85	101	100	98	95	
	瀬 戸 内 市	103	100	98	95	100	100	104	105	
	赤 磐 市	101	100	99	98	97	100	103	108	
	和 気 町	105	100	94	89	101	100	97	98	
	関係市町 合 計	99	100	101	101	96	100	104	109	人口増加・ 世帯数増加
	岡 山 県	101	100	99	97	97	100	102	106	人口減少・ 世帯数増加

※平成17、22、27、令和2年国勢調査

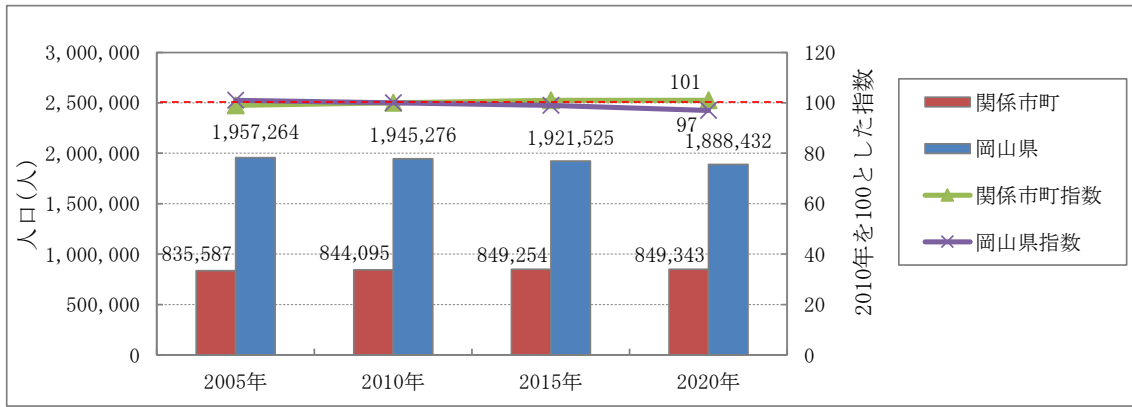


図-4.1 人口の推移と動向（関係市町、岡山県）

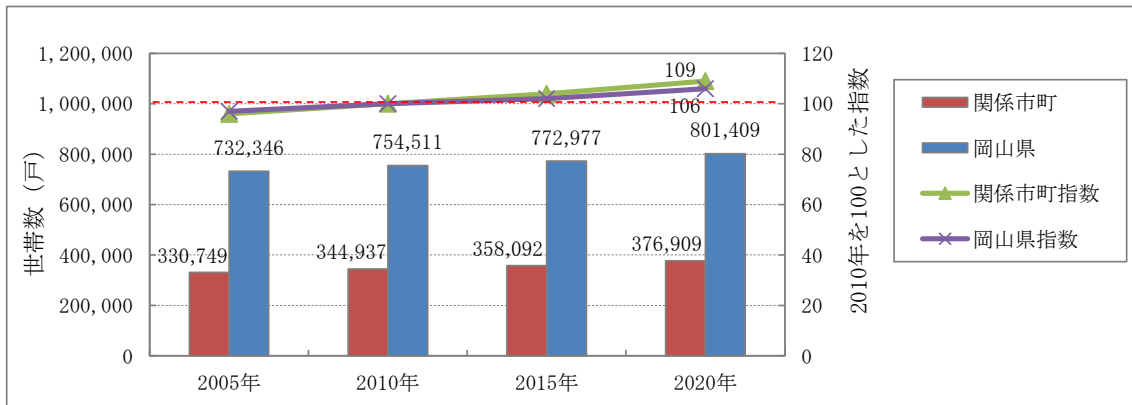


図-4.2 世帯数の推移と動向（関係市町、岡山県）

## 4.2 産業別就業人口の推移

関係市町の実業人口は、平成 22 年（2010 年）の 393,967 人から令和 2 年（2020 年）の 389,466 人へと、10 年間で 4,501 人減少（1%）であった。岡山県全体では、平成 22 年（2010 年）の 900,116 人から令和 2 年（2020 年）の 867,759 へと、10 年間で 32,357 人減少（4%）であった。

また、関係市町の農業就業人口は、平成 22 年（2010 年）の 12,979 人から令和 2 年（2020 年）の 11,015 人へと 1,964 人減少（15%）している。同様に岡山県全体では、40,416 人から、令和 2 年（2020 年）の 33,398 人へと、7,018 人減少（17%）している。（表-4.2、表-4.3、図-4.3、図-4.4 参照）

このように、農業における就業人口の減少が、就業人口全体と比べ顕著となっている。

表-4.2 産業別就業人口（関係市町、岡山県）

(単位:人)

年	市町村名	第1次産業		第2次産業	第3次産業	分類 不能な 産業	合計
			うち 農業				
2005年 (平成17年)	岡山市	11,893	11,635	74,554	235,446	6,744	328,637
	備前市	802	577	6,984	10,372	65	18,223
	瀬戸内市	2,483	2,165	5,897	10,491	39	18,910
	赤磐市	2,620	2,606	6,668	12,474	98	21,860
	和気町	786	780	2,610	4,116	33	7,545
	関係市町合計	18,584	17,763	96,713	272,899	6,979	395,175
	構成割合	(5%)	(4%)	(24%)	(69%)	(2%)	(100%)
	構成割合計	(5%)	(4%)	(24%)	(69%)	(2%)	
	岡山県	59,677	56,974	272,414	586,459	14,038	932,588
	構成割合	(6%)	(6%)	(29%)	(63%)	(2%)	(100%)
	構成割合計	(6%)	(6%)	(29%)	(63%)	(2%)	
2010年 (平成22年)	岡山市	8,925	8,703	67,642	234,539	21,472	332,578
	備前市	604	404	5,971	9,459	606	16,640
	瀬戸内市	1,765	1,527	4,936	10,055	926	17,682
	赤磐市	1,912	1,891	5,828	12,356	424	20,520
	和気町	461	454	2,135	3,869	82	6,547
	関係市町合計	13,667	12,979	86,512	270,278	23,510	393,967
	構成割合	(3%)	(3%)	(22%)	(69%)	(6%)	(100%)
	構成割合計	(3%)	(3%)	(22%)	(69%)	(6%)	
	岡山県	43,096	40,416	240,159	572,340	44,521	900,116
	構成割合	(5%)	(5%)	(27%)	(64%)	(5%)	(100%)
	構成割合計	(5%)	(5%)	(27%)	(64%)	(5%)	
2015年 (平成27年)	岡山市	8,329	8,097	70,742	242,725	19,434	341,230
	備前市	581	399	5,462	9,205	577	15,825
	瀬戸内市	1,638	1,410	5,044	10,165	858	17,705
	赤磐市	1,978	1,952	5,954	12,512	382	20,826
	和気町	488	479	2,143	3,790	48	6,469
	関係市町合計	13,014	12,337	89,345	278,397	21,299	402,055
	構成割合	(3%)	(3%)	(22%)	(69%)	(5%)	(100%)
	構成割合計	(3%)	(3%)	(22%)	(69%)	(5%)	
	岡山県	41,206	38,709	234,984	580,527	44,154	900,871
	構成割合	(5%)	(4%)	(26%)	(64%)	(5%)	(100%)
	構成割合計	(5%)	(4%)	(26%)	(64%)	(5%)	
2020年 (令和2年)	岡山市	7,487	7,299	69,148	245,491	8,595	330,721
	備前市	623	406	4,954	8,805	569	14,951
	瀬戸内市	1,516	1,279	4,963	10,110	442	17,031
	赤磐市	1,623	1,602	5,895	12,503	531	20,552
	和気町	435	429	2,047	3,521	208	6,211
	関係市町合計	11,684	11,015	87,007	280,430	10,345	389,466
	構成割合	(3%)	(3%)	(22%)	(72%)	(3%)	(100%)
	構成割合計	(3%)	(3%)	(22%)	(72%)	(3%)	
	岡山県	35,699	33,398	227,154	577,858	27,048	867,759
	構成割合	(4%)	(4%)	(26%)	(67%)	(3%)	(100%)
	構成割合計	(4%)	(4%)	(26%)	(67%)	(3%)	

※平成17、22、27、令和2年国勢調査

表-4.3 産業別就業人口の動向（2010 年を 100 とした指数）

産業別就業人口の動向（2010年を100とした指数）

年	市町村名	第1次産業		第2次産業	第3次産業	分 類 不能な 産 業	合計
			農業				
2005年 （平成17年）	岡 山 市	133	134	110	100	31	99
	備 前 市	133	143	117	110	11	110
	瀬 戸 内 市	141	142	119	104	4	18
	赤 磐 市	137	138	114	101	23	36
	和 気 町	170	172	122	106	40	278
	関係市町合計	136	137	112	101	30	100
	岡 山 県	138	141	113	102	32	104
2015年 （平成27年）	岡 山 市	93	93	105	103	91	103
	備 前 市	96	99	91	97	95	95
	瀬 戸 内 市	93	92	102	101	93	100
	赤 磐 市	103	103	102	101	90	101
	和 気 町	106	106	100	98	59	99
	関係市町合計	95	95	103	103	91	102
	岡 山 県	96	96	98	101	99	100
2020年 （令和2年）	岡 山 市	84	84	102	105	40	99
	備 前 市	103	100	83	93	94	90
	瀬 戸 内 市	86	84	101	101	48	96
	赤 磐 市	85	85	101	101	125	100
	和 気 町	94	94	96	91	254	95
	関係市町合計	85	85	101	104	44	99
	岡 山 県	83	83	95	101	61	96

※平成17、22、27、令和2年国勢調査

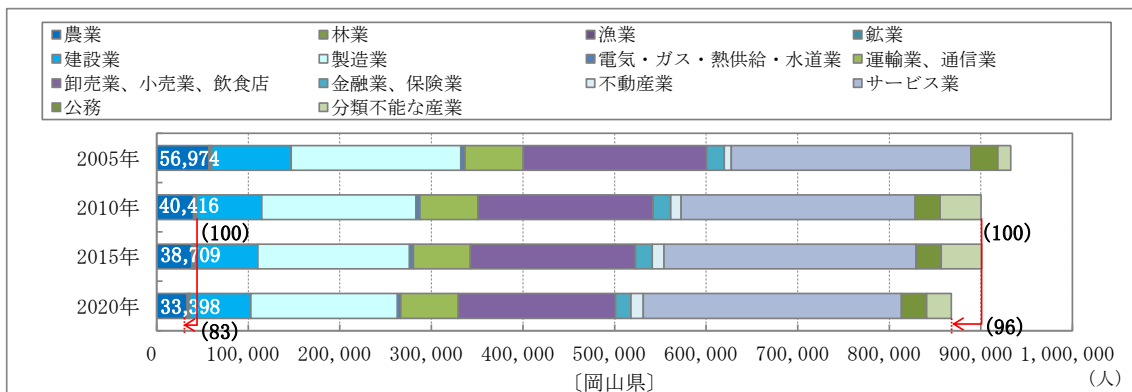
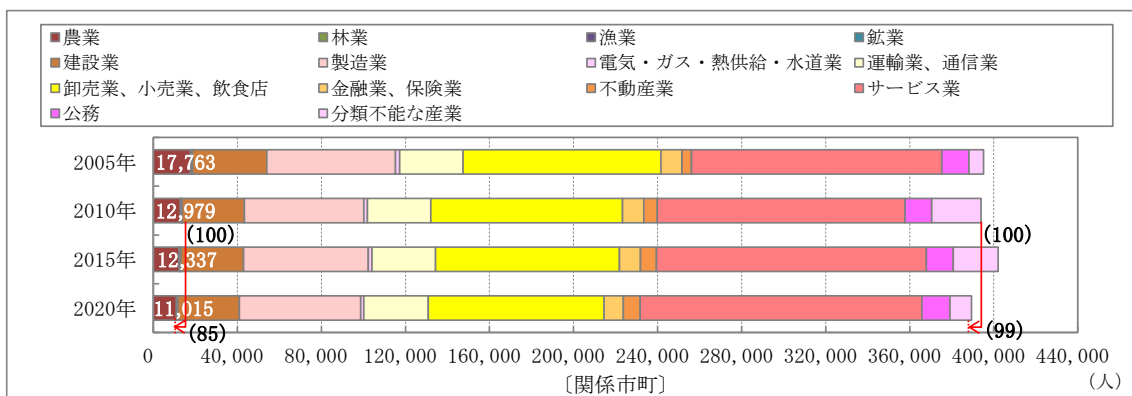


図-4.3 産業別就業人口の推移と動向（関係市町、岡山県）

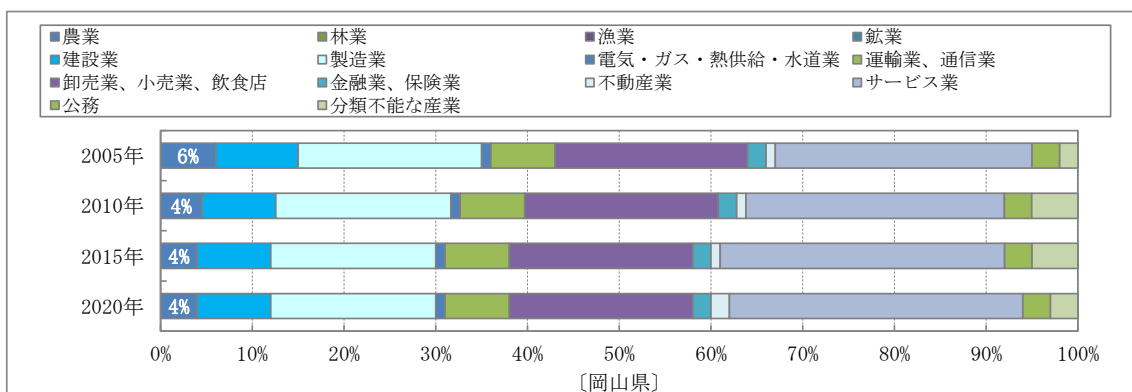
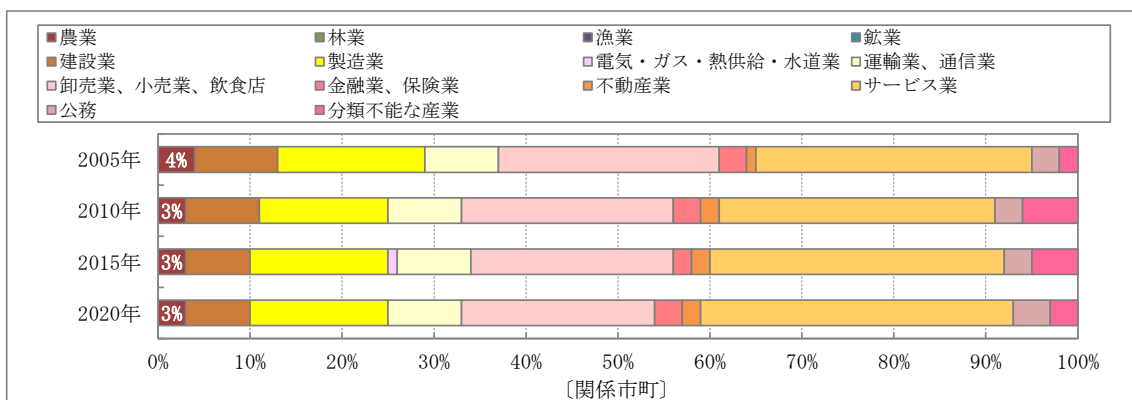


図-4.4 産業別就業人口割合（関係市町、岡山県）

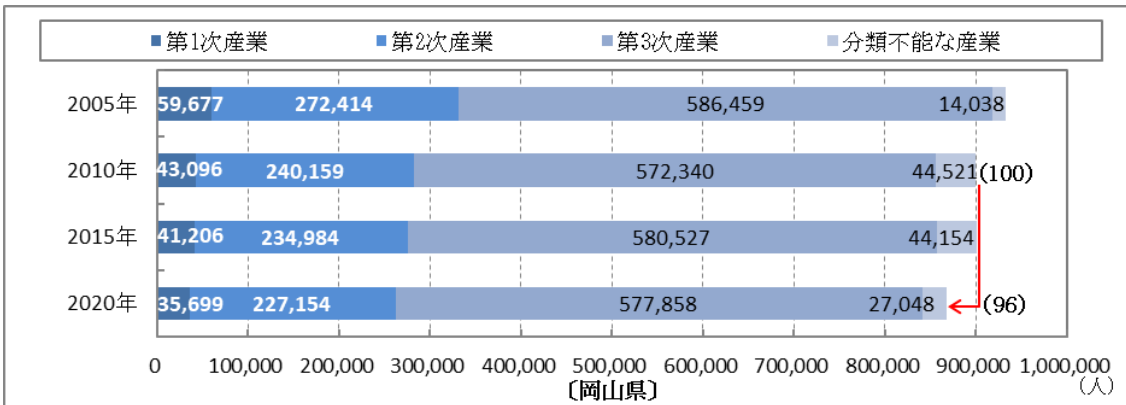
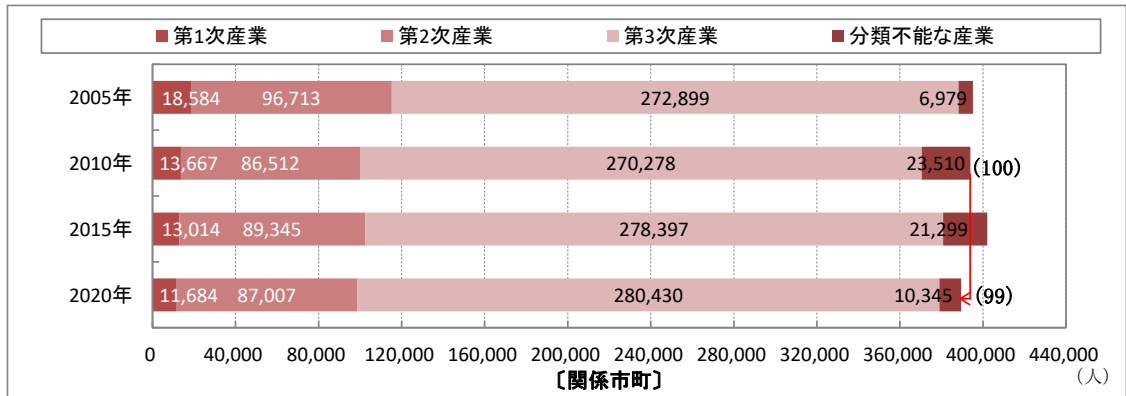


図-4.5 第1～3次産業別就業人口の推移と動向（関係市町、岡山県）

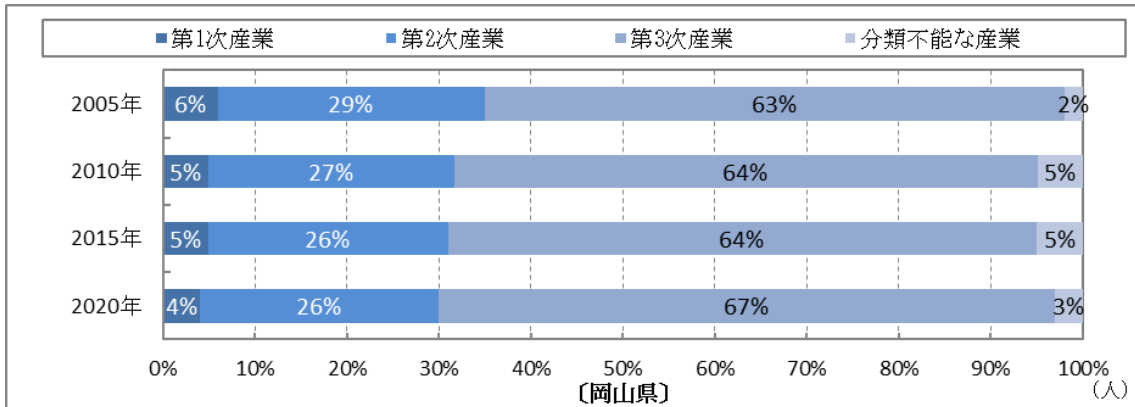
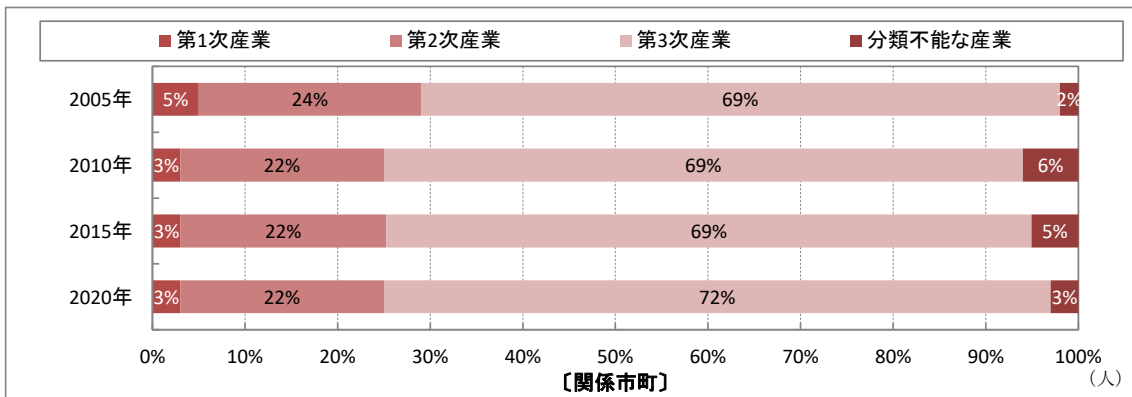


図-4.6 第1～3次産業別就業人口割合（関係市町、岡山県）



また、農業就業人口を関係市町別にみると、岡山市、瀬戸内市、赤磐市、和気町は平成 22 年（2010 年）から減少傾向にあるが、備前市は、平成 22 年（2010 年）の 404 人から令和 2 年（2020 年）の 406 人とほぼ横ばいである。

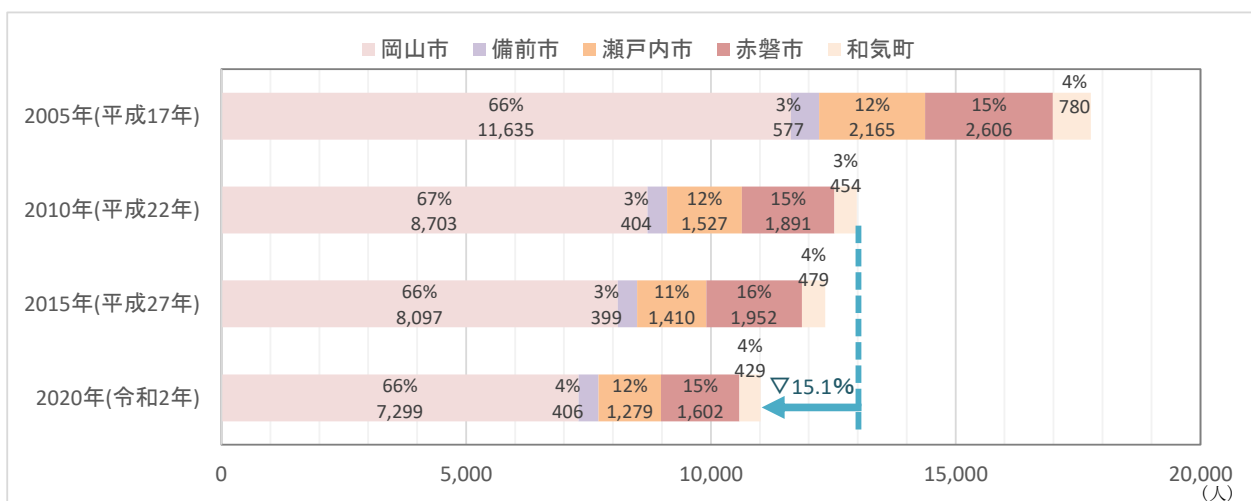


図-4.7 農業就業人口の推移と動向（関係市町）

### 4.3 耕地面積の推移

関係市町の耕地面積は、平成 22 年（2010 年）の 15,691ha から令和 2 年（2020 年）の 13,462ha へと、10 年間で 2,229ha 減少（14%）であった。岡山県全体では、平成 22 年（2010 年）の 45,594ha から令和 2 年（2020 年）の 36,774ha へと、10 年間で 8,820ha 減少（19%）であった。また、耕地面積は減少しているものの、その構成比は近年 15 年で大きく変動は見られず、2020 年における耕地面積に占める田の構成割合は、関係市町が 90%（12,070ha/13,462ha）となっており、岡山県全体の 83%（30,540ha/36,774ha）と比べ水田の比率が高い。（表-4.4、表-4.5、図-4.8 参照）

表-4.4 耕地面積の推移（関係市町、岡山県）

（単位：ha）

年	区分 市町村名	耕地面積	田	畑	樹園地
2005年(平成17年)	岡 山 市	10,920	9,866	569	484
	備 前 市	428	363	32	33
	瀬 戸 内 市	1,990	1,571	343	76
	赤 磐 市	1,934	1,637	102	197
	和 気 町	634	583	33	18
	関係市町合計 （構成割合）	15,906 (100%)	14,020 (88%)	1,079 (7%)	808 (5%)
	岡 山 県 （構成割合）	47,513 (100%)	39,146 (82%)	6,116 (13%)	2,250 (5%)
2010年(平成22年)	岡 山 市	10,895	10,004	461	430
	備 前 市	362	297	34	30
	瀬 戸 内 市	1,935	1,538	331	66
	赤 磐 市	1,893	1,591	119	183
	和 気 町	606	552	35	19
	関係市町合計 （構成割合）	15,691 (100%)	13,982 (89%)	980 (6%)	728 (5%)
	岡 山 県 （構成割合）	45,594 (100%)	37,549 (82%)	5,933 (13%)	2,112 (5%)
2015年(平成27年)	岡 山 市	10,317	9,473	442	401
	備 前 市	344	286	31	27
	瀬 戸 内 市	1,674	1,395	233	46
	赤 磐 市	1,722	1,462	96	165
	和 気 町	557	514	27	16
	関係市町合計 （構成割合）	14,614 (100%)	13,130 (90%)	829 (6%)	655 (4%)
	岡 山 県 （構成割合）	41,380 (100%)	34,424 (83%)	5,002 (12%)	1,955 (5%)
2020年(令和2年)	岡 山 市	9,395	8,603	474	317
	備 前 市	320	260	28	32
	瀬 戸 内 市	1,584	1,330	177	77
	赤 磐 市	1,610	1,381	94	136
	和 気 町	553	496	38	19
	関係市町合計 （構成割合）	13,462 (100%)	12,070 (90%)	811 (6%)	581 (4%)
	岡 山 県 （構成割合）	36,774 (100%)	30,540 (83%)	4,615 (13%)	1,619 (4%)

※2005年(H17)農林業センサス、2010年(H22)世界農林業センサス、2015年(H27)農林業センサス、  
2020年(R2)農林業センサス

農業経営体データ 2020年(R2)農林業センサスでは、販売農家データがないことによる。

表-4.5 耕地面積の動向（関係市町、岡山県、2010年を100とした指数）

（単位：ha）

年	区分 市町村名	耕地面積	田	畑	樹園地
2005年 （平成17年）	岡山市	100	99	123	113
	備前市	118	122	94	110
	瀬戸内市	103	102	104	115
	赤磐市	102	103	86	108
	和気町	105	106	94	95
	関係市町合計	101	100	110	111
	岡山県	104	104	103	107
2015年 （平成27年）	岡山市	95	95	96	93
	備前市	95	96	91	90
	瀬戸内市	87	91	70	70
	赤磐市	91	92	81	90
	和気町	92	93	77	84
	関係市町合計	93	94	85	90
	岡山県	91	92	84	93
2020年 （令和2年）	岡山市	86	87	83	65
	備前市	88	88	82	107
	瀬戸内市	82	86	53	117
	赤磐市	85	87	79	74
	和気町	91	90	109	100
	関係市町合計	86	86	83	80
	岡山県	81	81	78	77

※2005年（H17）農林業センサス、2010年（H22）世界農林業センサス、2015年（H27）農林業センサス、  
2020年（R2）農林業センサス

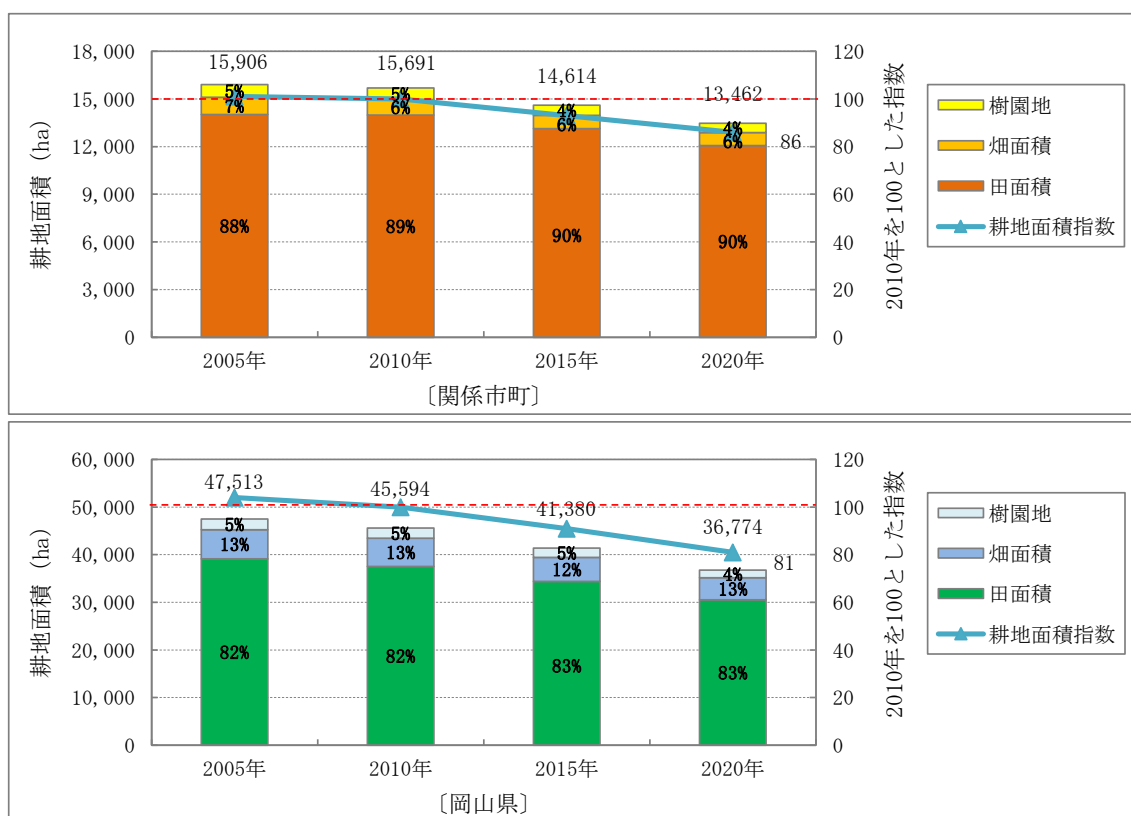


図-4.8 耕地面積の推移と動向（関係市町、岡山県）

## 4.4 農家数の推移

### 4.4.1 総農家数の推移

関係市町の総農家数は、平成22年（2010年）の19,625戸から令和2年（2020年）の13,240戸へと、10年間で6,385戸減少（33%）であった。

岡山県全体では、平成22年（2010年）の73,498戸から令和2年（2020年）の50,735戸へと、22,763戸減少（31%）であった。（表-4.6、図-4.9 参照）

表-4.6 総農家数（関係市町、岡山県）

区分 市町村名	総農家数（単位：戸）				2010年（H22）を100とした指数		
	2005年 （平成17年）	2010年 （平成22年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	2005年 （平成17年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）
岡 山 市	14,063	12,691	10,753	8,498	111	85	67
備 前 市	1,400	1,179	952	787	119	81	67
瀬 戸 内 市	2,121	1,887	1,518	1,195	112	80	63
赤 磐 市	2,865	2,563	2,225	1,876	112	87	73
和 気 町	1,457	1,305	1,100	884	112	84	68
関係市町合計	21,906	19,625	16,548	13,240	112	84	67
岡 山 県	81,786	73,498	62,592	50,735	111	85	69

※2005年（H17）農林業センサス、2010年（H22）世界農林業センサス、2015年（H27）農林業センサス、2020年（R2）農林業センサス

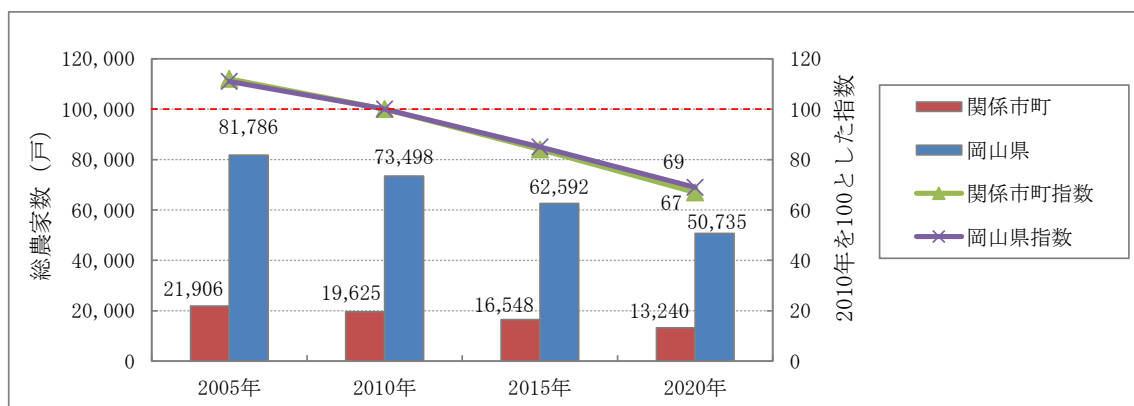


図-4.9 総農家数の推移と動向（関係市町、岡山県）

また、関係市町の総農家数の内訳をみると、販売農家は平成22年（2010年）の13,013戸から、令和2年（2020年）の8,298戸へと、10年間で4,715戸減少（36%）し、自給的農家は平成22年（2010年）の6,612戸から、令和2年（2020年）の4,942戸へと、10年間で1,670戸減少（25%）していた。

販売農家の割合は平成22年の66%から令和2年の63%と10年間で3ポイント減少しており、自給的農家よりも販売農家の方が、減少割合が大きい。（表-4.7、図-4.10 参照）

表-4.7 総農家数の内訳（販売農家と自給的農家）

（単位：戸）

年	市町村名	販売農家数			自給的農家数			総農家数	
		農家数	2010年を100とした指数	総農家数における割合	農家数	2010年を100とした指数	総農家数における割合	農家数	2010年を100とした指数
2010年 (平成22年)	岡山市	8,730	100	69%	3,961	100	31%	12,691	100
	備前市	480	100	41%	699	100	59%	1,179	100
	瀬戸内市	1,293	100	69%	594	100	32%	1,887	100
	赤磐市	1,770	100	69%	793	100	31%	2,563	100
	和気町	740	100	57%	565	100	43%	1,305	100
	関係市町合計	13,013	100	66%	6,612	100	34%	19,625	100
	岡山県	44,228	100	60%	29,270	100	40%	73,498	100
2015年 (平成27年)	岡山市	7,135	82	66%	3,618	91	34%	10,753	85
	備前市	374	78	39%	578	83	61%	952	81
	瀬戸内市	975	75	64%	543	91	36%	1,518	80
	赤磐市	1,476	83	66%	749	94	34%	2,225	87
	和気町	611	83	56%	489	87	45%	1,100	84
	関係市町合計	10,571	81	64%	5,977	90	36%	16,548	84
	岡山県	36,077	82	58%	26,515	91	42%	62,592	85
2020年 (令和2年)	岡山市	5,557	64	65%	2,941	74	35%	8,498	67
	備前市	296	62	38%	491	70	62%	787	67
	瀬戸内市	738	57	62%	457	77	38%	1,195	63
	赤磐市	1,215	69	65%	661	83	35%	1,876	73
	和気町	492	66	56%	392	69	44%	884	68
	関係市町合計	8,298	64	63%	4,942	75	37%	13,240	67
	岡山県	27,937	63	55%	22,798	78	45%	50,735	69

※2010年（H22）世界農林業センサス、2015年（H27）農林業センサス、2020年（R2）農林業センサス

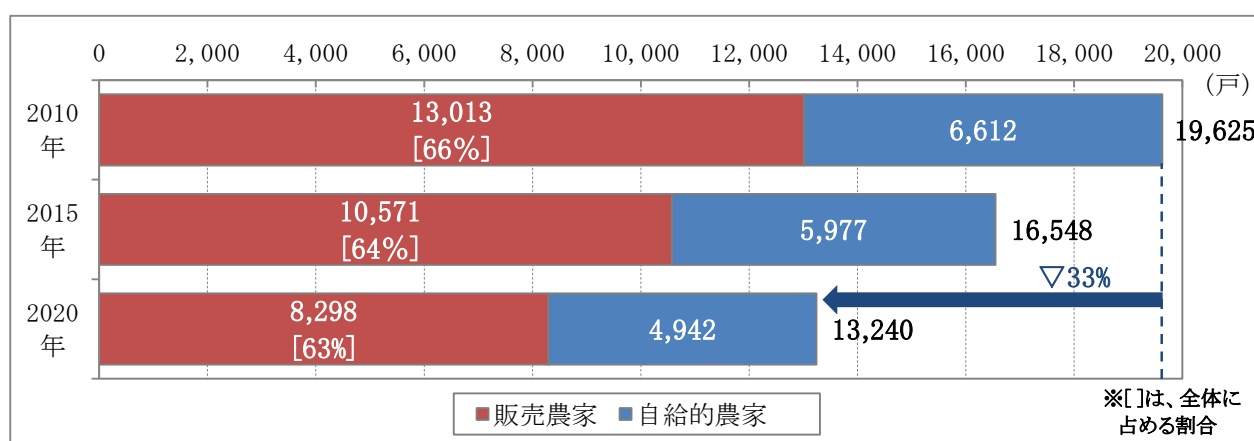


図-4.10 関係市町における総農家数の推移（H22、H27、R2）

#### 4.4.2 専兼業別農家数の推移

関係市町の専業農家数は、平成22年(2010年)の3,953戸から平成27年(2015年)の3,580戸へと、5年間で373戸減少(9%)であった。

岡山県全体では、平成22年(2010年)の12,665戸から平成27年(2015年)の11,476戸へと、5年間で1,189戸減少(9%)であった。(表-4.8、図-4.11 参照)

表-4.8 専兼業別農家数(関係市町、岡山県)

(単位:戸)

年	市町村名	販売農家数		専業農家		第1種兼業農家		第2種兼業農家	
		農家数	2010年を100とした指数	農家数	2010年を100とした指数	農家数	2010年を100とした指数	農家数	2010年を100とした指数
2005年 (平成17年)	岡山市	10,029	115	2,525	98	812	115	6,692	123
	備前市	622	130	153	111	33	103	436	141
	瀬戸内市	1,558	120	452	97	171	121	935	136
	赤磐市	2,058	116	573	98	228	119	1,257	126
	和気町	870	118	208	107	51	109	611	123
	関係市町合計	15,137	116	3,911	99	1,295	116	9,931	125
2010年 (平成22年)	岡山県	51,709	117	12,301	97	4,116	120	35,292	125
	岡山市	8,730	100	2,574	100	709	100	5,447	100
	備前市	480	100	138	100	32	100	310	100
	瀬戸内市	1,293	100	464	100	141	100	688	100
	赤磐市	1,770	100	582	100	192	100	996	100
	和気町	740	100	195	100	47	100	498	100
2015年 (平成27年)	関係市町合計	13,013	100	3,953	100	1,121	100	7,939	100
	岡山県	44,228	100	12,665	100	3,427	100	28,136	100
	岡山市	7,135	82	2,357	92	652	92	4,126	76
	備前市	374	78	112	81	23	72	239	77
	瀬戸内市	975	75	345	74	135	96	495	72
	赤磐市	1,476	83	574	99	107	56	795	80
2020年 (令和2年)	和気町	611	83	192	98	35	74	384	77
	関係市町合計	10,571	81	3,580	91	952	85	6,039	76
	岡山県	36,077	82	11,476	91	2,844	83	21,757	77
	岡山市	5,557	64						
	備前市	296	62						
	瀬戸内市	738	57						
2020年 (令和2年)	赤磐市	1,215	69						
	和気町	492	66						
	関係市町合計	8,298	64						
	岡山県	27,937	63						

2020年農林業センサス  
データなし  
(調査廃止)

※2005年(H17)農林業センサス、2010年(H22)世界農林業センサス、2015年(H27)農林業センサス、2020年(R2)農林業センサス

販売農家:農家のうち、経営耕地面積が30a以上 又は  
年間農産物販売金額が50万円以上の農家

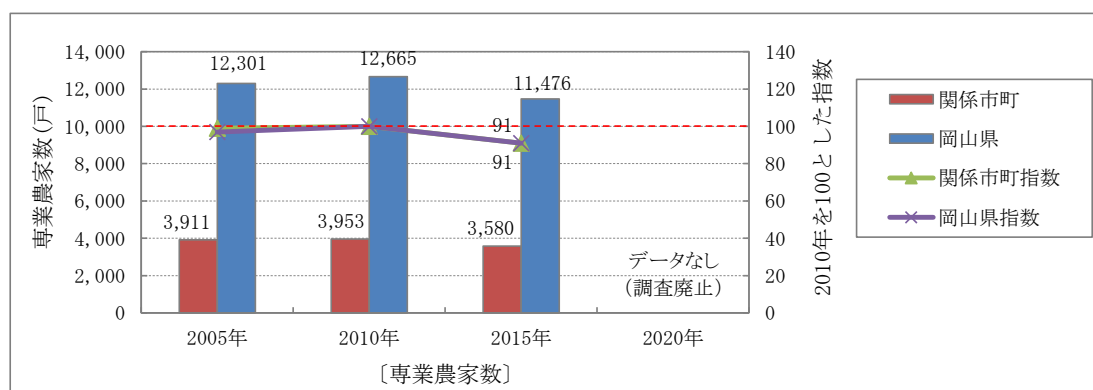
専業農家:世帯員の中に兼業従事者が一人もいない農家

兼業農家:世帯員の中に兼業従事者が一人以上いる農家

第1種兼業農家:兼業農家の内農業所得を主とする農家

第2種兼業農家:兼業農家の内農業所得を従とする農家

図-4.11 専業農家数の推移と動向(関係市町、岡山県)



#### 4.4.3 農業経営体数の推移

関係市町、岡山県ともに、農業経営体数全体は減少傾向にあるが、法人経営体数は増加傾向にある。

関係市町の農業経営体数のうち、法人経営体数は、平成 22 年（2010 年）の 83 経営体から令和 2 年（2020 年）の 170 経営体へと、10 年間で 87 経営体増加（105%）であった。

岡山県全体では、平成 22 年（2010 年）の 302 経営体から令和 2 年（2020 年）の 538 経営体へと、10 年間で 236 経営体増加（78%）であった。（表-4.9、図-4.12 参照）

表-4.9 農業経営体数の推移（関係市町、岡山県）

(単位：経営体)

年	市町村名	農業経営体の計	法人経営	地方公共団体・財産区	法人化していない	
						個人経営体
2010年 (平成22年)	岡山市	8,829	48	0	8,781	8,767
	備前市	486	1	0	485	483
	瀬戸内市	1,313	12	0	1,301	1,300
	赤磐市	1,791	13	0	1,778	1,777
	和気町	753	9	0	744	740
	関係市町村合計	13,172	83	0	13,089	13,067
	岡山県	44,880	302	3	44,575	44,424
2015年 (平成27年)	岡山市	7,250	65	0	7,185	7,172
	備前市	386	3	0	383	377
	瀬戸内市	996	17	0	979	979
	赤磐市	1,499	11	0	1,488	1,487
	和気町	623	10	1	612	611
	関係市町村合計	10,754	106	1	10,647	10,626
	岡山県	36,801	420	2	36,379	36,244
2020年 (令和2年)	岡山市	5,701	120	0	5,581	5,568
	備前市	308	6	0	302	297
	瀬戸内市	762	20	0	742	741
	赤磐市	1,241	17	0	1,224	1,221
	和気町	506	7	2	497	494
	関係市町村合計	8,518	170	2	8,346	8,321
	岡山県	28,699	538	2	28,159	28,047

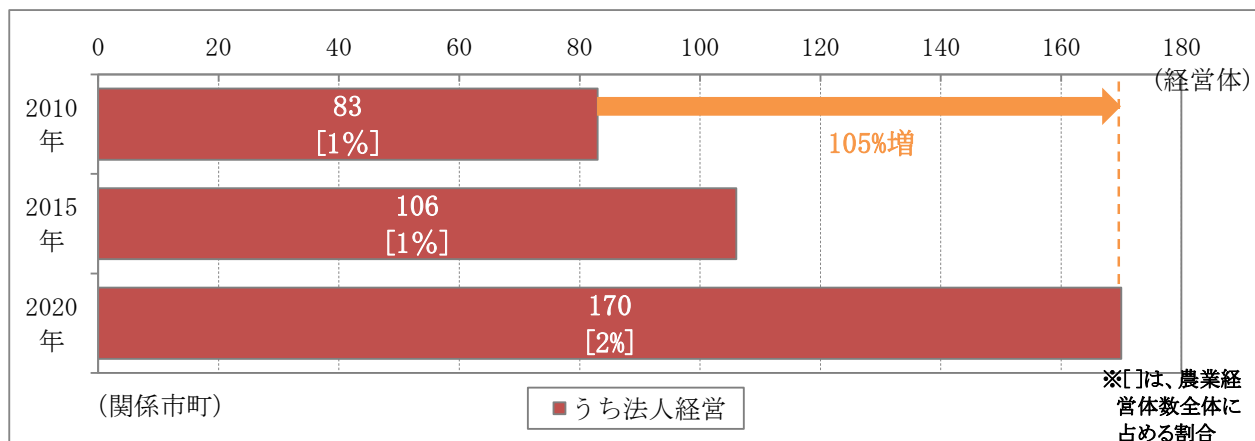


図-4.12 関係市町における法人経営体数（H22、H27、R2）

#### 4.4.4 経営規模別農家数の推移

関係市町の面積規模 5.0ha 以上の経営体数は、平成 22 年（2010 年）の 270 経営体から令和 2 年（2020 年）の 357 経営体へと、10 年間で 87 経営体増加（32%）であった。岡山県全体では、平成 22 年（2010 年）の 694 経営体から令和 2 年（2020 年）の 916 経営体へと、10 年間で 222 経営体増加（32%）であった。

そのうち、10.0ha 以上の農家数についてみると、関係市町は 98 経営体から 167 経営体へと、69 経営体増加（70%）、岡山県全体も 235 経営体から 410 経営体へと、175 経営体増加（74%）であり、農地集積や経営規模が大幅に拡大している。（表-4.10、図-4.13、図-4.14、図-4.15 参照）

表-4.10 経営規模別経営体数（関係市町、岡山県）

（単位：経営体）

年	市町村名	経営体数	1.0ha 未満	1.0～ 2.0	2.0～ 3.0	3.0～ 5.0	5.0～ 10.0	10.0～ 20.0	20.0～ 30.0	30.0～ 50.0	50.0ha 以上	5.0ha 以上	うち 10.0ha 以上
2005年 (平成17年)	岡山市	10,081	6,575	2,639	548	173	91	40	9	4	2	146	55
	備前市	639	547	71	15	4	2	0	0	0	0	2	0
	瀬戸内市	1,581	937	484	83	36	23	14	3	1	0	41	18
	赤磐市	2,086	1,474	510	68	22	8	3	0	0	1	12	4
	和気町	883	745	113	11	11	3	0	0	0	0	3	0
	関係市町合計	15,270	10,278	3,817	725	246	127	57	12	5	3	204	77
	岡山県	52,296	39,121	10,310	1,654	693	342	132	26	10	8	518	176
2010年 (平成22年)	岡山市	8,829	5,587	2,343	505	207	115	52	8	9	3	187	72
	備前市	486	402	64	16	2	2	0	0	0	0	2	0
	瀬戸内市	1,313	734	409	77	44	27	12	8	2	0	49	22
	赤磐市	1,791	1,182	482	78	25	20	2	1	0	1	24	4
	和気町	753	620	92	21	12	8	0	0	0	0	8	0
	関係市町合計	13,172	8,525	3,390	697	290	172	66	17	11	4	270	98
	岡山県	44,880	32,501	9,281	1,606	798	459	172	33	22	8	694	235
2015年 (平成27年)	岡山市	7,250	4,443	1,966	446	179	129	54	15	11	7	216	87
	備前市	386	298	63	11	8	5	1	0	0	0	6	1
	瀬戸内市	996	555	287	63	39	26	17	5	4	0	52	26
	赤磐市	1,499	991	398	55	27	20	4	3	0	1	28	8
	和気町	623	476	106	21	8	11	1	0	0	0	12	1
	関係市町合計	10,754	6,763	2,820	596	261	191	77	23	15	8	314	123
	岡山県	36,801	25,860	7,881	1,469	789	507	214	40	28	13	802	295
2020年 (令和2年)	岡山市	5,701	3,389	1,498	376	187	131	69	23	19	9	251	120
	備前市	308	231	48	11	11	4	3	0	0	0	7	3
	瀬戸内市	762	400	236	41	37	18	15	7	6	2	48	30
	赤磐市	1,241	836	263	62	43	27	4	2	3	1	37	10
	和気町	506	377	82	18	15	10	3	1	0	0	14	4
	関係市町合計	8,518	5,233	2,127	508	293	190	94	33	28	12	357	167
	岡山県	28,699	19,816	5,968	1,225	774	506	266	75	48	21	916	410
2010年を100 とした指数 (2020年)	関係市町合計	65	61	63	73	101	110	142	194	255	300	132	170
	岡山県	64	61	64	76	97	110	155	227	218	263	132	174

※2005年(H17)農林業センサス、2010年(H22)世界農林業センサス、2015年(H27)農林業センサス、2020年(R2)農林業センサス  
2010年(H22)、2015年(H27)、2020年(R2)の0.3ha未満は「経営耕地なし」と「0.3ha未満」の合計値



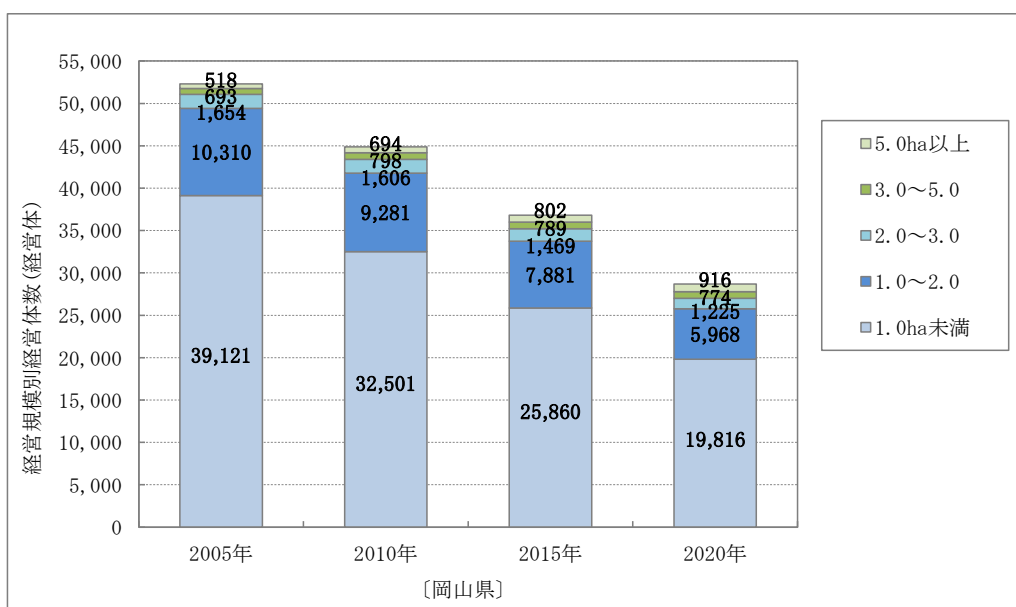
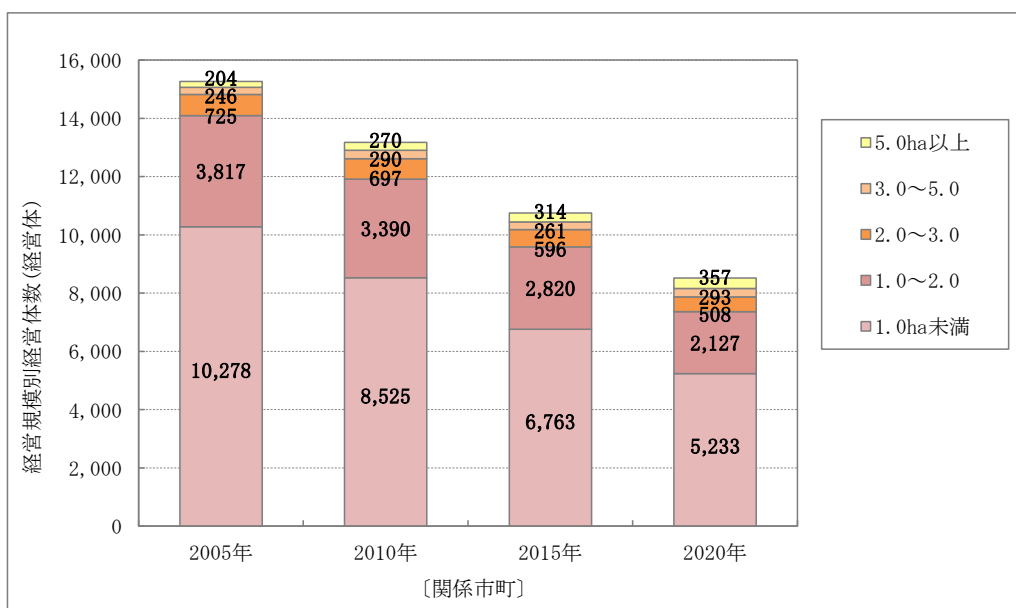


図-4.13 経営規模別経営体数の推移（関係市町、岡山県）

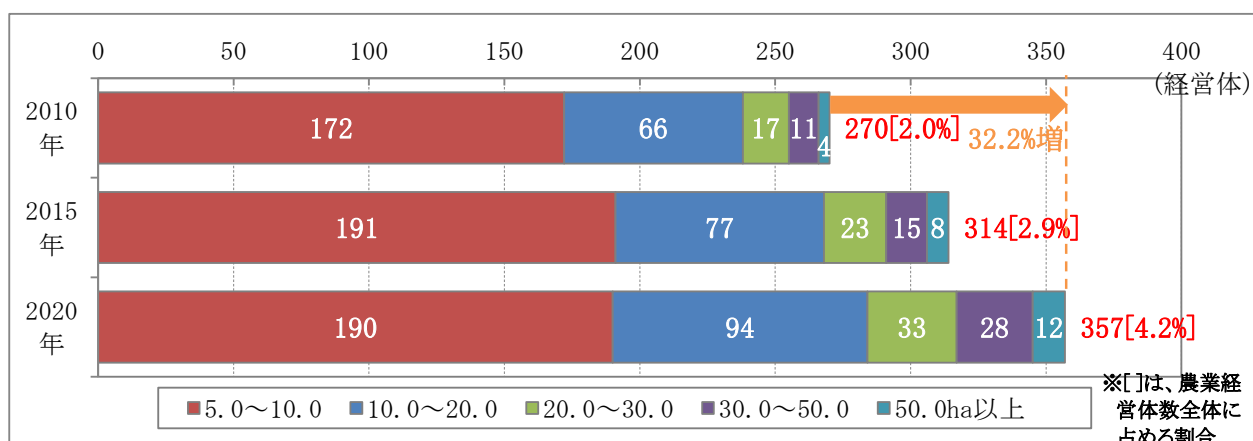


図-4.14 関係市町における経営耕地面積 5.0ha 以上の農業経営体数（H22、H27、R2）

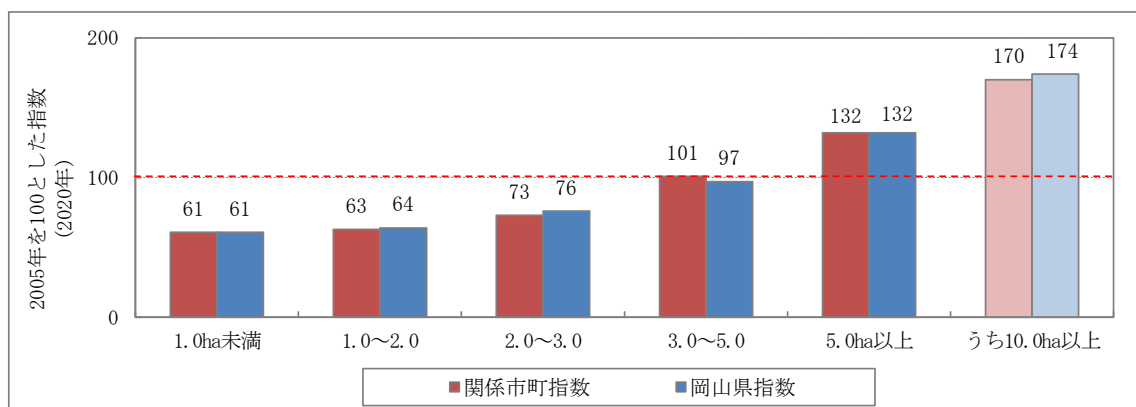


図-4.15 経営規模別経営体数の動向（関係市町、岡山県）（R2 年/H22 年）

関係市町における経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率をみると、平成 22 年から平成 27 年の 5 年間では経営耕地面積が 5ha 未満の経営体で減少、5ha 以上の経営体で増加傾向となっており、平成 22 年から令和 2 年の 10 年間では経営耕地面積が 3ha 未満の経営体で減少、3ha 以上の経営体で増加傾向となっている。（図-4.16 参照）

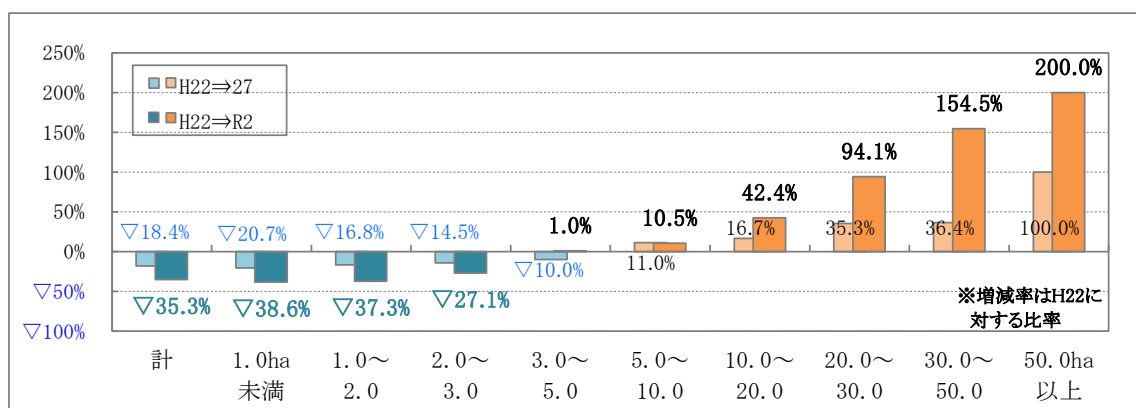


図-4.16 関係市町における経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率（R2・H27/H22）

また、吉井川地区の面積規模 5.0ha 以上の経営体数は、平成 24 年（2012 年）の 100 経営体から令和 4 年（2022 年）の 133 経営体へと、10 年間で 33 経営体増加（33%）であった。（表-4.11、図-4.17、図-4.18 参照）

表-4.11 吉井川地区受益地における経営耕地面積 5ha 以上の農業経営体数の推移

単位：経営体

年	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ～ 30.0	30.0 ～ 50.0	50.0 ha 以 上	計
H24	56	24	12	6	2	100
H29	70	32	14	9	3	128
R4	65	38	16	7	7	133

《H24からの増減率》

H24⇒H29	25%	33%	17%	50%	50%	28%
H24⇒R 4	16%	58%	33%	17%	250%	33%

※吉井川下流土地改良区調査

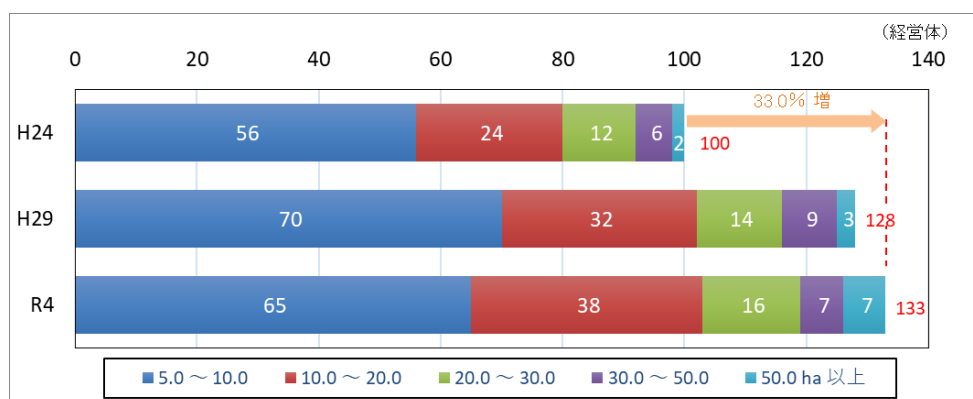


図-4.17 受益地内における経営耕地面積 5ha 以上の農業経営体数

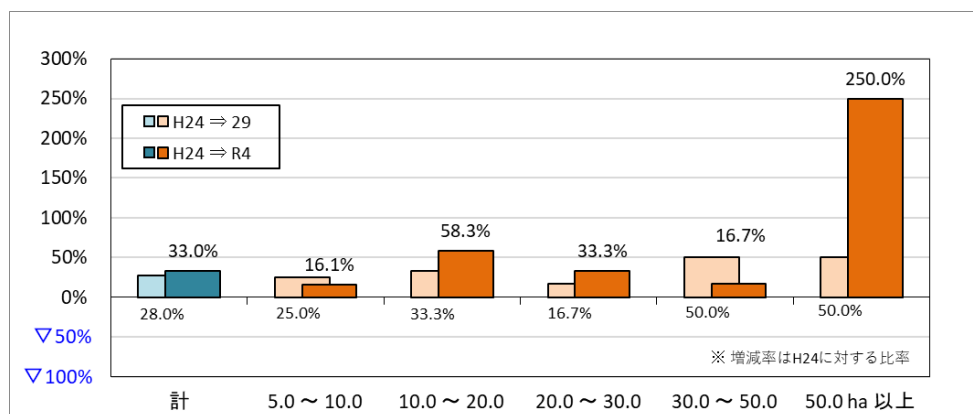


図-4.18 受益地内における経営耕地面積 5ha 以上の農業経営体数の増減率

#### 4.4.5 基幹的農業従事者数の推移

関係市町における基幹的農業従事者数は減少傾向にあり、平成 22 年（2010 年）の 13,797 人から令和 2 年（2020 年）の 8,775 人へと、10 年間で 5,022 人減少（36%）している。

平均年齢は 10 年間で 70.4 歳から 71.1 歳と 0.7 歳上昇しており、また、年齢層は 65 歳以上の割合が大きい。65 歳以上の基幹的農業従事者数は、平成 22 年（2010 年）の 10,295 人から令和 2 年（2020 年）の 7,082 人へと、10 年間で 3,213 人減少（31%）と、65 歳未満に比べて、減少率がやや小さい。

10 年間の年齢階層別基幹的農業従事者数の増減率をみると、85 歳以上が 13%増加している以外は全体的に減少しており、なかでも 50～54 歳は減少率 52%、55～59 歳は減少率 59%、60～64 歳は減少率 62%と大きく減少している。（表-4.12、表-4.13、図-4.19、図-4.20、図-4.21 参照）

表-4.12 吉井川地区関係市町における年齢階層別の基幹的農業従事者数

年	市区町村名	男 女 計																65歳以上
		計	15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85歳以上	
2010年 (平成22年)	岡 山 市	9,075	2	13	31	56	81	96	141	255	480	1,189	1,652	1,823	1,817	1,049	390	6,731
	備 前 市	452	0	0	1	1	2	2	3	5	18	52	91	120	83	46	28	368
	瀬 戸 内 市	1,473	0	4	5	8	17	22	26	45	102	202	261	302	287	137	55	1,042
	赤 磐 市	2,071	1	4	9	14	17	14	35	63	122	239	322	406	408	310	107	1,553
	和 気 町	726	0	1	1	1	3	1	5	11	21	81	145	169	139	102	46	601
	関係市町計	13,797	3	22	47	80	120	135	210	379	743	1,763	2,471	2,820	2,734	1,644	626	10,295
2015年 (平成27年)	岡 山 県	48,666	17	70	168	228	345	401	619	1,171	2,454	5,760	8,197	9,913	10,147	6,579	2,597	37,433
	岡 山 市	7,328	1	20	32	60	70	100	101	163	309	788	1,481	1,536	1,283	955	429	5,684
	備 前 市	346	0	0	0	1	0	4	3	3	7	47	75	79	77	27	23	281
	瀬 戸 内 市	1,084	0	2	6	9	14	26	28	32	57	127	208	212	183	132	48	783
	赤 磐 市	1,680	0	1	8	10	20	12	18	38	79	213	320	309	299	227	126	1,281
	和 気 町	536	0	0	3	2	4	4	1	6	13	57	127	130	100	61	28	446
2020年 (令和2年)	関係市町計	10,974	1	23	49	82	108	146	151	242	465	1,232	2,211	2,266	1,942	1,402	654	8,475
	岡 山 県	37,715	9	62	144	235	294	406	468	711	1,426	4,246	7,307	7,485	7,109	5,222	2,591	29,714
	岡 山 市	5,847	1	7	21	48	70	89	130	124	197	455	1,019	1,368	1,127	725	466	4,705
	備 前 市	270	-	-	-	2	2	2	8	6	6	14	54	74	55	29	18	230
	瀬 戸 内 市	852	-	2	5	8	12	15	24	27	38	70	139	188	148	104	72	651
	赤 磐 市	1,299	-	1	5	11	12	19	17	20	52	106	263	296	227	164	106	1,056
2010年を100 とした指数 (2020年)	和 気 町	507	-	-	1	6	5	6	6	4	11	28	91	140	98	65	46	440
	関係市町計	8,775	1	10	32	75	101	131	185	181	304	673	1,566	2,066	1,655	1,087	708	7,082
2010年を100 とした指数 (2020年)	岡 山 県	29,253	7	43	91	212	322	365	511	551	891	2,229	5,347	6,808	5,366	3,842	2,668	24,031
	関係市町合計	64	33	45	68	94	84	97	88	48	41	38	63	73	61	66	113	69
2010年を100 とした指数 (2020年)	岡 山 県	60	41	61	54	93	93	91	83	47	36	39	65	69	53	58	103	64

表-4.13 吉井川地区関係市町における基幹的農業従事者平均年齢

年	市区町村名	平均年齢
2010年 (平成22年)	岡 山 市	69.7
	備 前 市	71.3
	瀬 戸 内 市	68.9
	赤 磐 市	70.3
	和 気 町	72.0
	関係市町平均	70.4
2015年 (平成27年)	岡 山 県	72.0
	岡 山 市	70.2
	備 前 市	71.4
	瀬 戸 内 市	68.8
	赤 磐 市	70.6
	和 気 町	71.1
2020年 (令和2年)	関係市町計	70.4
	岡 山 県	70.9
	岡 山 市	70.9
	備 前 市	71.2
	瀬 戸 内 市	70.0
	赤 磐 市	71.1
2010年を100 とした指数 (2020年)	和 気 町	72.2
	関係市町計	71.1
	岡 山 県	71.5
2010年を100 とした指数 (2020年)	関係市町合平均	101.0
	岡 山 県	99.0

※2010年(H22)世界農業センサス、2015年(H27)農林業センサス、2020年(R2)農林業センサス

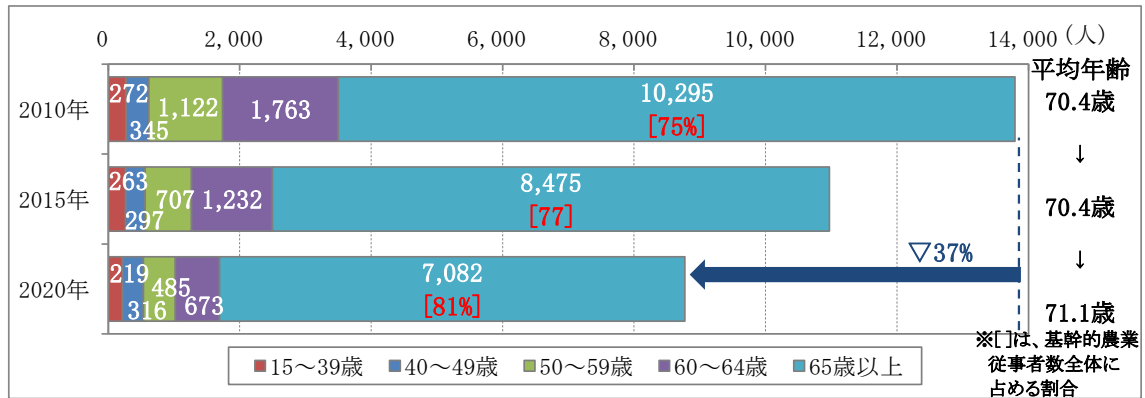


図-4.19 吉井川地区関係市町における年齢階層別基幹的農業従事者数（2010年、2015年、2020年）

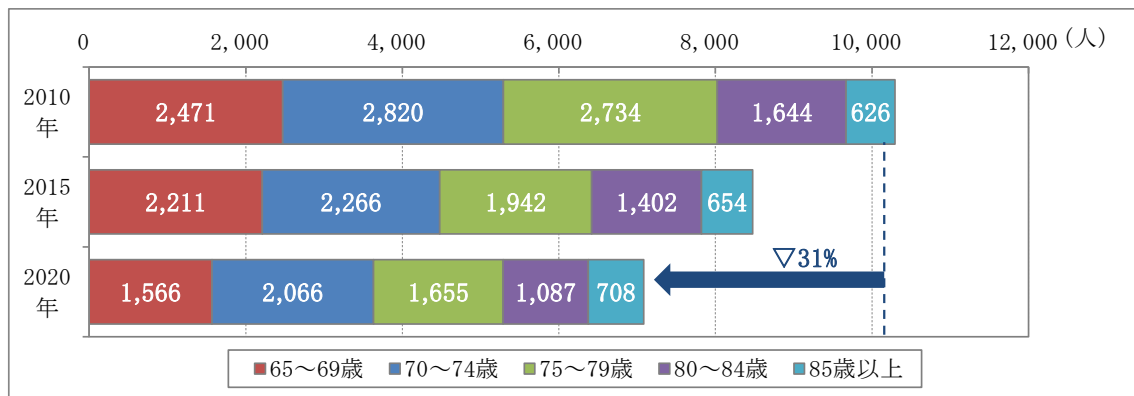


図-4.20 うち 65 歳以上の基幹的農業従事者数（2010年、2015年、2020年）

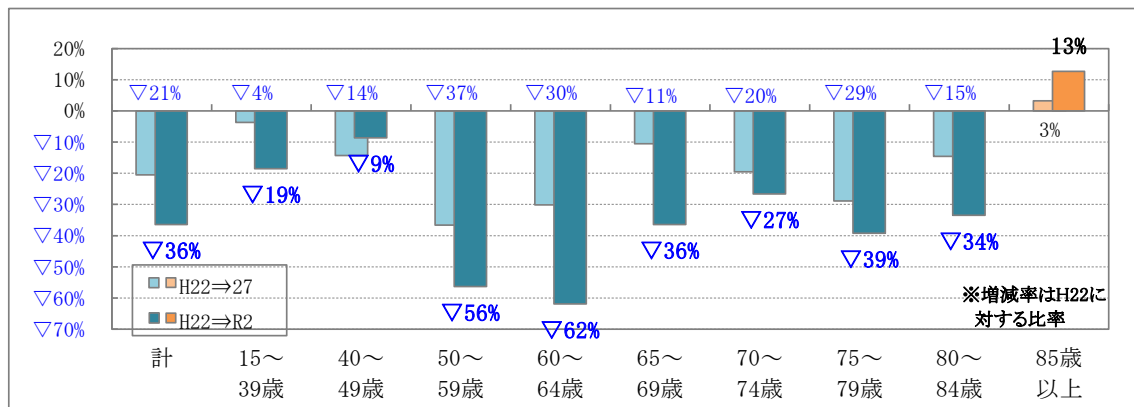


図-4.21 吉井川地区関係市町における  
年齢階層別基幹的農業従事者数の増減率（2020年・2015年/2010年）

#### 4.4.6 認定農業者の推移

関係市町全体の認定農業者数は年度ごとの十分なデータが得られないため、岡山県の推移をみると、平成23年（2011年）の3,264経営体から令和3年（2021年）の2,806経営体へと、10年間で458経営体減少（14%）であった。

ただし、構成内訳をみると、非法人が減少（3,039経営体から2,355経営体）している一方、法人は、225経営体から451経営体と226経営体増加（100%）しており、農業経営における組織体制の変化が顕著である。（表-4.14、図-4.22 参照）

参考までに、岡山市、備前市、瀬戸内市を対象に連続したデータが得られる平成28年から令和元年までの推移をみると、若干の増減は見られるもののほぼ横ばいから減少傾向である。（表-4.15、図-4.23 参照）

表-4.14 認定農業者数 岡山県（平成23年～令和3年）

(単位:経営体)

区分	市町村名	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
			うち法人		うち法人		うち法人		うち法人		うち法人		うち法人
認定農業者経営体数	岡山県	3,264	225	3,124	234	3,086	261	3,151	291	3,160	306	3,107	338
平成23年度を100とした指数	岡山県	100	100	96	104	95	116	97	129	97	136	95	150

区分	市町村名	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度			
			うち法人		うち法人		うち法人		うち法人		うち法人		
認定農業者経営体数	岡山県	3,066	379	3,030	398	2,959	427	2,810	431	2,806	451		
平成23年度を100とした指数	岡山県	94	168	93	177	91	190	86	192	86	200		

※認定農業者の認定状況（農林水産省）

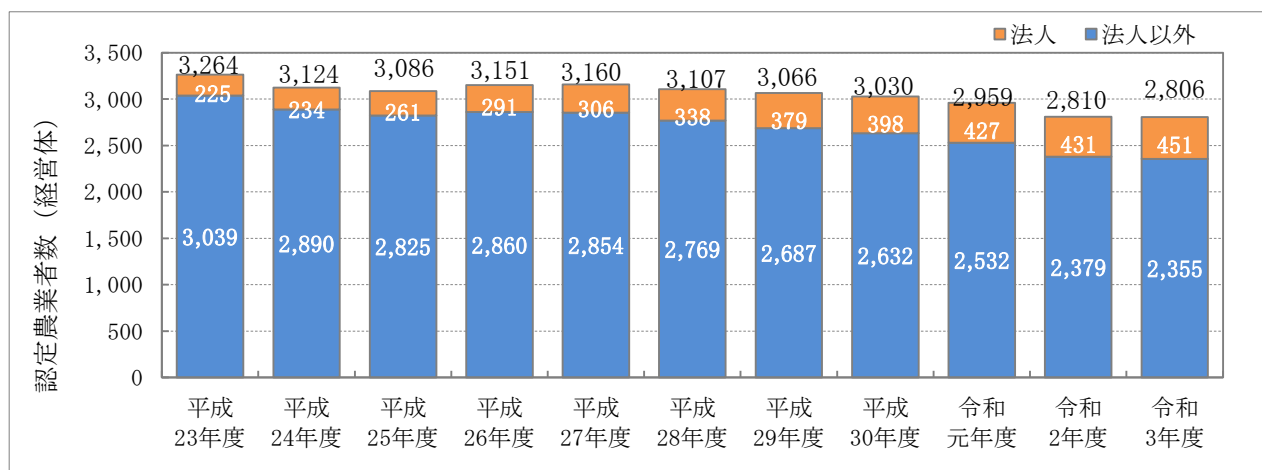


図-4.22 認定農業者数の推移と動向（平成23年～令和3年：岡山県）

表-4.15 認定農業者数 関係市町（平成23年～令和3年）

(単位:経営体)

区分	市町村名	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
			うち法人		うち法人		うち法人		うち法人		うち法人		うち法人
認定農業者経営体	岡山市							633		665		661	
	備前市											19	
	瀬戸内市											127	
	赤磐市	95		96		99		102		105		103	
	和気町												
	関係市町合計	95		96		99		735		770		910	
平成23年度を100とした指数	岡山市	3,264	225	3,124	234	3,086	261	3,151	291	3,160	306	3,107	338
	備前市	-		-		-		-		-		-	
	瀬戸内市	-		-		-		-		-		-	
	赤磐市	100		101		104		107		111		108	
	和気町	-		-		-		-		-		-	
	関係市町合計	100		101		104		774		811		958	
	岡山県	100		96		95		97		97		95	

※岡山県より聞き取り

(単位:経営体)

区分	市町村名	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度			
			うち法人		うち法人		うち法人		うち法人		うち法人		
認定農業者経営体	岡山市	661		665		653							
	備前市	18		18		18		13		23			
	瀬戸内市	123		122		118							
	赤磐市	-		104		105		100		96			
	和気町					34							
	関係市町合計	802		909		928		113		119			
平成23年度を100とした指数	岡山市	3,066	379	3,030	398	2,959	427	2,810	431	2,806	451		
	備前市	-		-		-		-		-			
	瀬戸内市	-		-		-		-		-			
	赤磐市	-		109		111		105		101			
	和気町	-		-		-		-		-			
	関係市町合計	802		909		928		113		119			
	岡山県	94		93		91		86		86			

※岡山県:認定農業者の認定状況（農林水産省）

関係市町:各市町の農業委員会資料等より

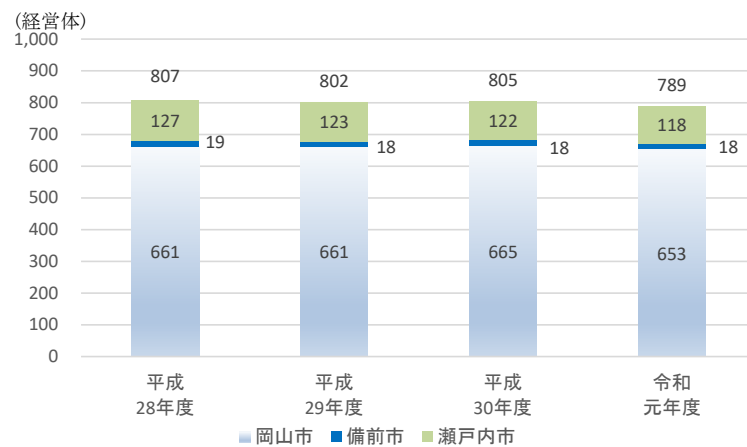


図-4.23 認定農業者数の推移と動向（平成28年～令和元年：関係市町）

## 4.5 主要作物作付面積の推移

### 4.5.1 水稲

関係市町の水稲の作付面積は、平成23年（2011年）の12,189haから令和3年（2021年）の10,837haへと、10年間で1,352ha減少（11%）であった。

岡山県全体では、平成23年（2011年）の33,100haから令和3年（2021年）の28,800haへと、4,300ha減少（13%）であった。

令和3年では関係市町の水稲作付面積が岡山県全体の38%（10,837ha/28,800ha）を占めており、県内有数の米の産地となっている。（表-4.16、図-4.24 参照）

表-4.16 水稲の作付面積と指数（関係市町、岡山県）

（単位：ha）

市町村名		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
作付面積	岡山市	8,680	8,510	8,530	8,440	8,080	8,010	7,930	8,110	8,150	8,090	7,750
	備前市	364	361	358	355	333	324	321	314	312	311	299
	瀬戸内市	1,320	1,310	1,330	1,310	1,220	1,170	1,150	1,170	1,170	1,140	1,070
	赤磐市	1,310	1,300	1,340	1,340	1,300	1,290	1,270	1,300	1,300	1,300	1,290
	和気町	515	507	514	510	477	464	452	456	460	451	428
	関係市町合計	12,189	11,988	12,072	11,955	11,410	11,258	11,123	11,350	11,392	11,292	10,837
	岡山県	33,100	32,700	33,100	32,600	31,000	30,400	30,100	30,200	30,100	29,800	28,800
H23年を100とした指数	関係市町合計	100	98	99	98	94	92	91	93	93	93	89
	岡山県	100	99	100	98	94	92	91	91	91	90	87

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査

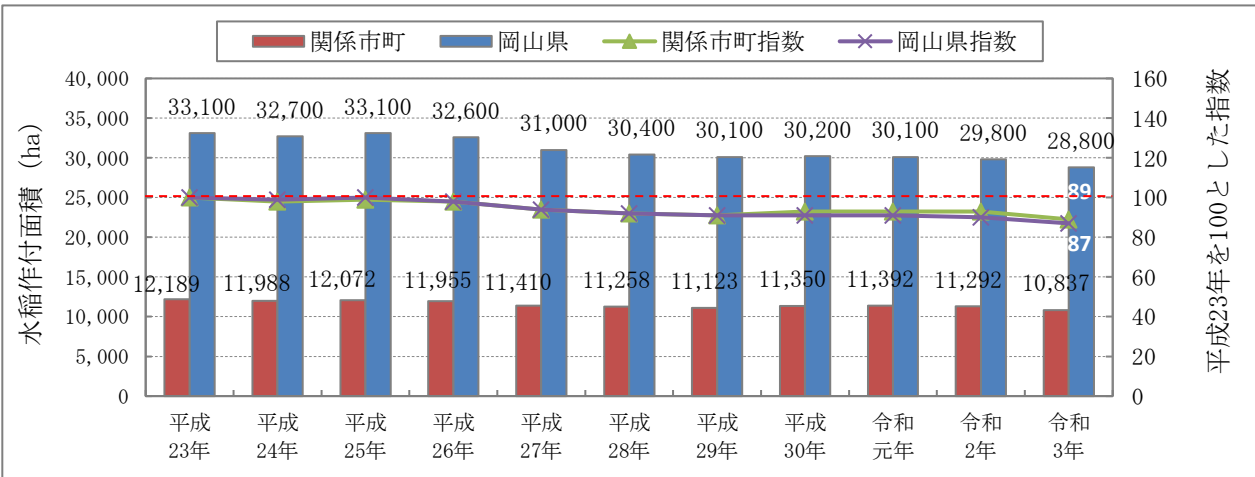


図-4.24 水稲の作付面積の推移と動向（関係市町、岡山県）



### 4.5.2 小麦

関係市町の小麦の作付面積は、平成 23 年（2011 年）の 395ha から令和 3 年（2021 年）の 800ha へと、10 年間で 405ha 増加（103%）であった。

岡山県全体では、平成 23 年（2011 年）の 453ha から令和 3 年（2021 年）の 968ha へと、10 年間で 515ha 増加（114%）であった。

令和 3 年では関係市町の小麦作付面積が岡山県全体の 83%（800ha/968ha）を占めており、県内最大の小麦の産地となっている。（表-4.17、図-4.25 参照）

表-4.17 小麦の作付面積と指数（関係市町、岡山県）

（単位：ha）

市町村名		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
作付面積	岡山市	393	392	391	424	475	510	551	596	630	714	794
	備前市	x	x	x	x	x	x	—	—	—	—	—
	瀬戸内市	x	x	x	5	4	5	4	7	7	14	6
	赤磐市	x	2	1	1	2	x	x	x	x	x	x
	和気町	2	2	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	関係市町合計	395	396	392	430	481	515	555	603	637	728	800
	岡山県	453	482	480	548	629	664	715	747	784	888	968
H23年を100とした指数	関係市町合計	100	100	99	109	122	130	141	153	161	184	203
	岡山県	100	106	106	121	139	147	158	165	173	196	214

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

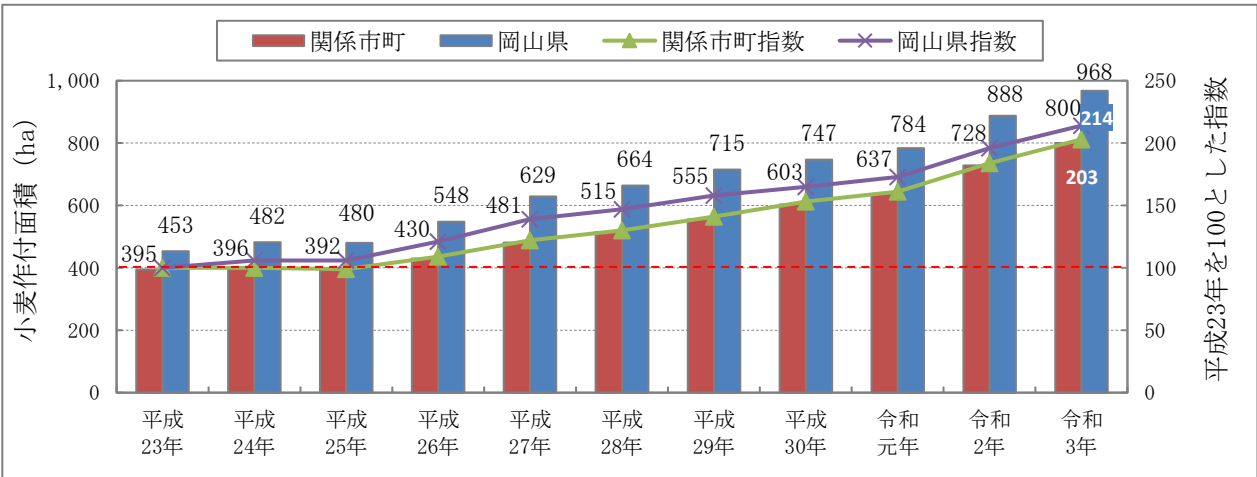


図-4.25 小麦の作付面積の推移と動向（関係市町、岡山県）

### 4.5.3 二条大麦

関係市町の二条大麦の作付面積は、平成23年（2011年）の1,688haから令和3年（2021年）の1,831haへと、10年間で143ha増加（8%）であった。

岡山県全体では、平成23年（2011年）の2,020haから令和3年（2021年）の2,120haへと、10年間で100ha増加（5%）であった。

令和3年では関係市町の二条大麦作付面積が岡山県全体の86%（1,831ha/2,120ha）を占めており、県内最大の二条大麦の産地となっている。（表-4.18、図-4.26 参照）

表-4.18 二条大麦の作付面積と指数（関係市町、岡山県）

（単位：ha）

市町村名		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
作付面積	岡山市	1,460	1,410	1,440	1,470	1,480	1,450	1,460	1,410	1,500	1,630	1,500
	備前市	-	-	-	-	x	x	x	-	x	x	x
	瀬戸内市	178	178	201	219	238	242	247	247	178	173	263
	赤磐市	47	43	49	53	76	76	71	66	59	53	50
	和気町	3	5	10	10	14	14	8	9	11	14	18
	関係市町合計	1,688	1,636	1,700	1,752	1,808	1,782	1,786	1,732	1,748	1,870	1,831
	岡山県	2,020	1,950	1,990	2,070	2,130	2,110	2,100	2,030	1,970	2,070	2,120
H23年を100とした指数	関係市町合計	100	97	101	104	107	106	106	103	104	111	108
	岡山県	100	97	99	102	105	104	104	100	98	102	105

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

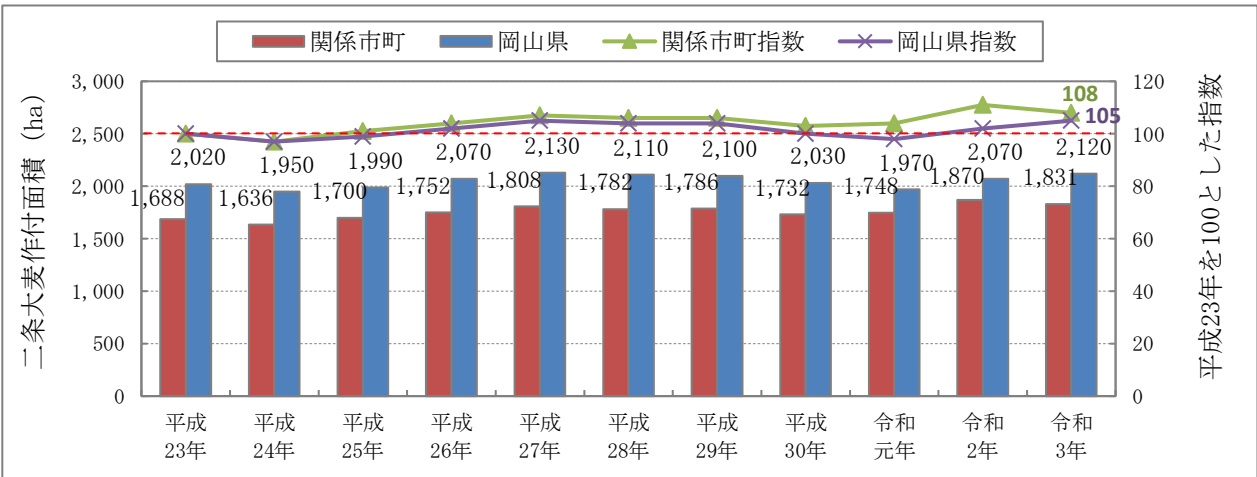


図-4.26 二条大麦の作付面積の推移と動向（関係市町、岡山県）

#### 4.5.4 大豆

関係市町の大豆の作付面積は、平成 23 年（2011 年）の 332ha から令和 3 年（2021 年）の 284ha へと、10 年間で 48ha 減少（14%）であった。

岡山県全体では、平成 23 年（2011 年）の 1,810ha から令和 3 年（2021 年）の 1,550ha へと、10 年間で 260ha 減少（14%）であった。

令和 3 年では関係市町の大豆作付面積が岡山県全体の 18%（284ha/1,550ha）を占めている。（表-4.19、図-4.27 参照）

表-4.19 大豆の作付面積と指数（関係市町、岡山県）

（単位：ha）

市町村名		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
作付面積	岡山市	175	164	167	152	164	155	139	133	132	134	143
	備前市	14	13	12	12	14	11	10	10	10	13	10
	瀬戸内市	36	39	43	43	44	38	40	36	33	25	36
	赤磐市	88	83	79	81	92	90	87	88	80	80	80
	和气町	19	18	17	16	25	20	17	15	15	15	15
	関係市町合計	332	317	318	304	339	314	293	282	270	267	284
	岡山県	1,810	1,750	1,740	1,730	1,840	1,820	1,730	1,630	1,580	1,540	1,550
H23年を100とした指数	関係市町合計	100	95	96	92	102	95	88	85	81	80	86
	岡山県	100	97	96	96	102	101	96	90	87	85	86

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査

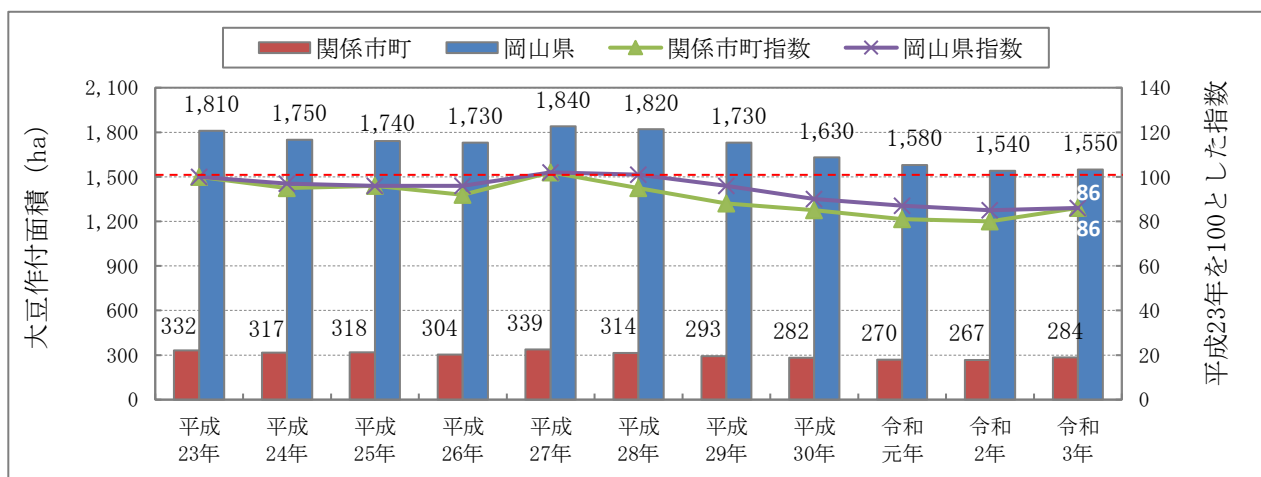


図-4.27 大豆の作付面積の推移と動向（関係市町、岡山県）

#### 4.5.5 キャベツ

関係市町のキャベツの作付面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体のキャベツの作付面積は、平成22年（2010年）の327haから令和2年（2020年）の305haへと、10年間で22ha減少（7%）であった。傾向としては、最近10年間で継続して徐々に減少傾向にあるが、依然として主要作物として300haを維持している。（表-4.20、図-4.28 参照）

表-4.20 キャベツの作付面積と指数（岡山県）

（単位：ha）

市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	327	328	329	313	315	310	299	313	313	306	305
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	100	101	96	96	95	91	96	96	94	93

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

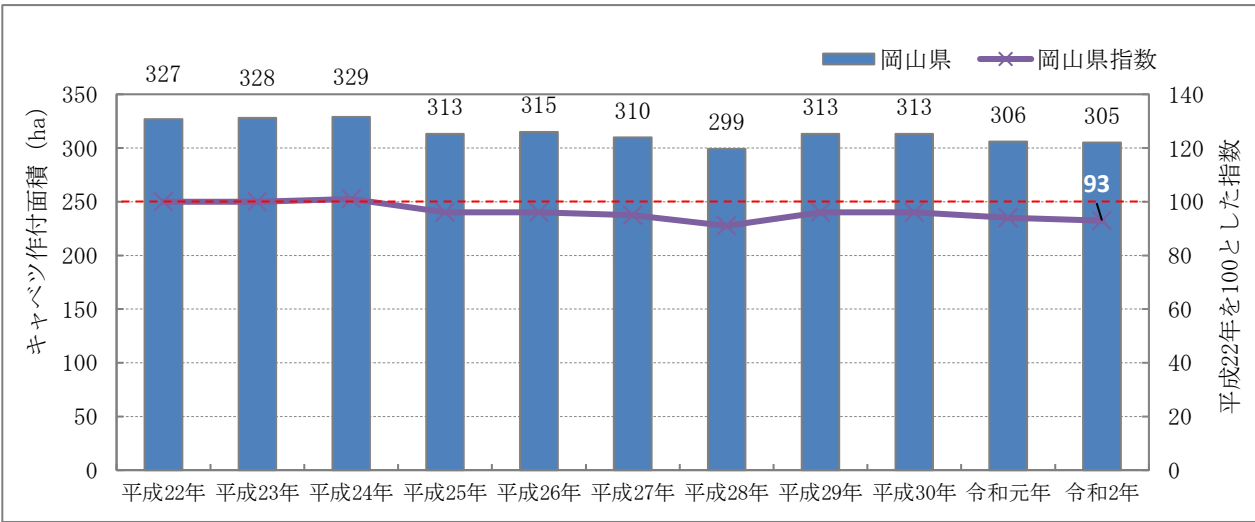


図-4.28 キャベツの作付面積の推移と動向（岡山県）

#### 4.5.6 はくさい

関係市町のはくさいの作付面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体のはくさいの作付面積は、平成 22 年（2010 年）の 356ha から令和 2 年（2020 年）の 246ha へと、10 年間で 110ha 減少（31%）であった。傾向としては、最近 10 年間で継続して減少傾向にある。（表-4.21、図-4.29 参照）

表-4.21 はくさいの作付面積と指数（岡山県）

（単位：ha）

市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	356	343	334	305	293	290	284	286	281	257	246
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	96	94	86	82	81	80	80	79	72	69

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

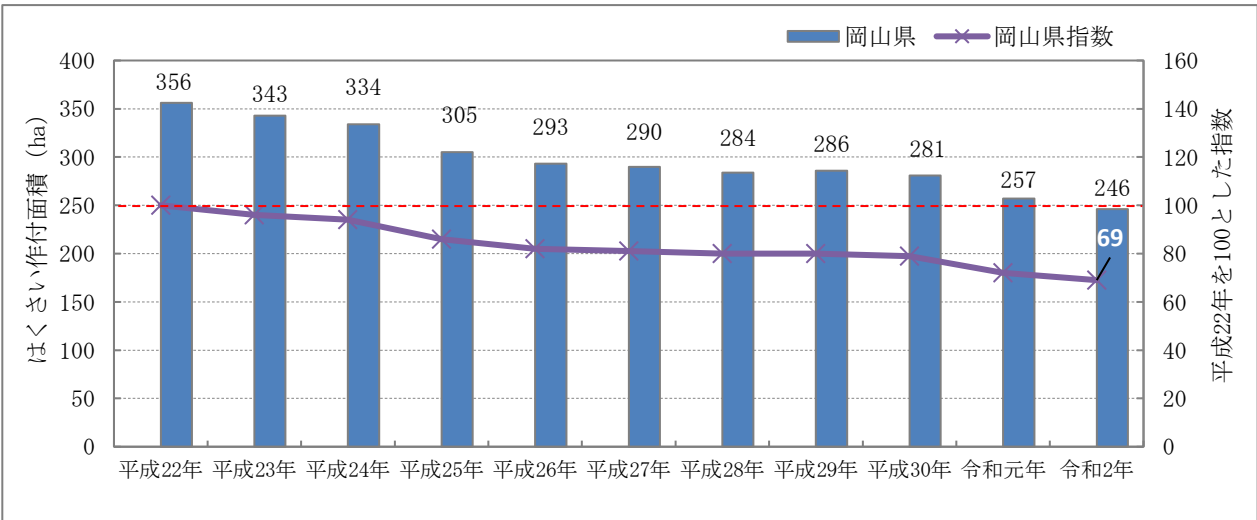


図-4.29 はくさいの作付面積の推移と動向（岡山県）

#### 4.5.7 かぼちゃ

関係市町のかぼちゃの作付面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体のかぼちゃの作付面積は、平成22年（2010年）の193haから令和2年（2020年）の113haへと、10年間で80ha減少（41%）であった。（表-4.22、図-4.30 参照）

表-4.22 かぼちゃの作付面積と指数（岡山県）

（単位：ha）

市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	193	192	168	135	128	127	131	128	126	115	113
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	99	87	70	66	66	68	66	65	60	59

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

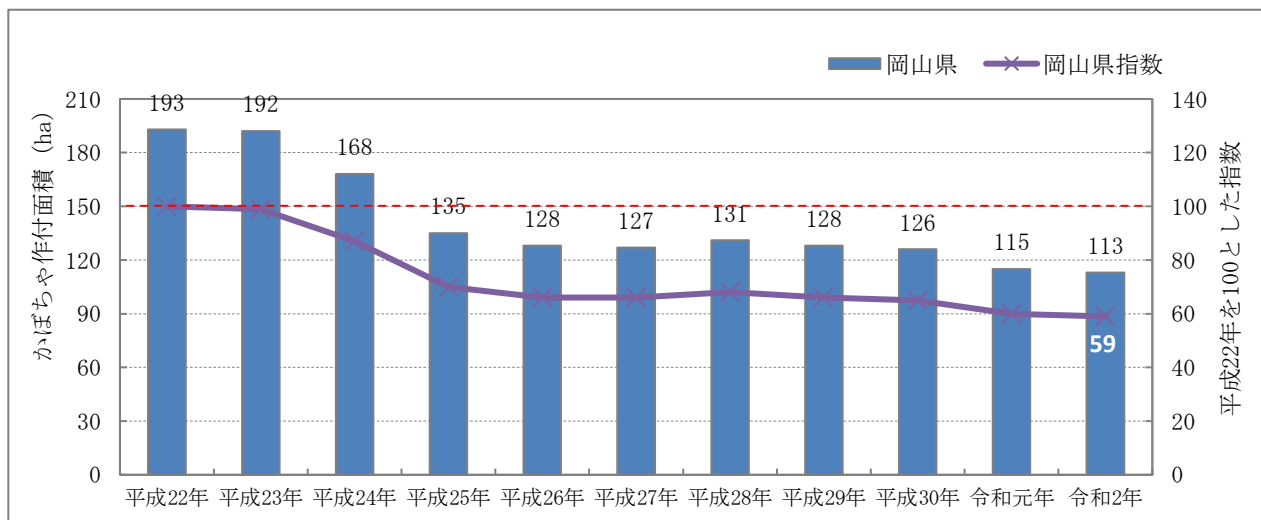


図-4.30 かぼちゃの作付面積の推移と動向（岡山県）

### 4.5.8 ばれいしょ

関係市町のばれいしょの作付面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体のばれいしょの作付面積は、平成22年（2010年）の329haから令和2年（2020年）の210haへと、10年間で119ha減少（36%）であった。（表-4.23、図-4.31 参照）

表-4.23 ばれいしょの作付面積と指数（岡山県）

		(単位:ha)										
市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	329	314	298	294	280	272	268	263	253	229	210
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	95	91	89	85	83	81	80	77	70	64

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

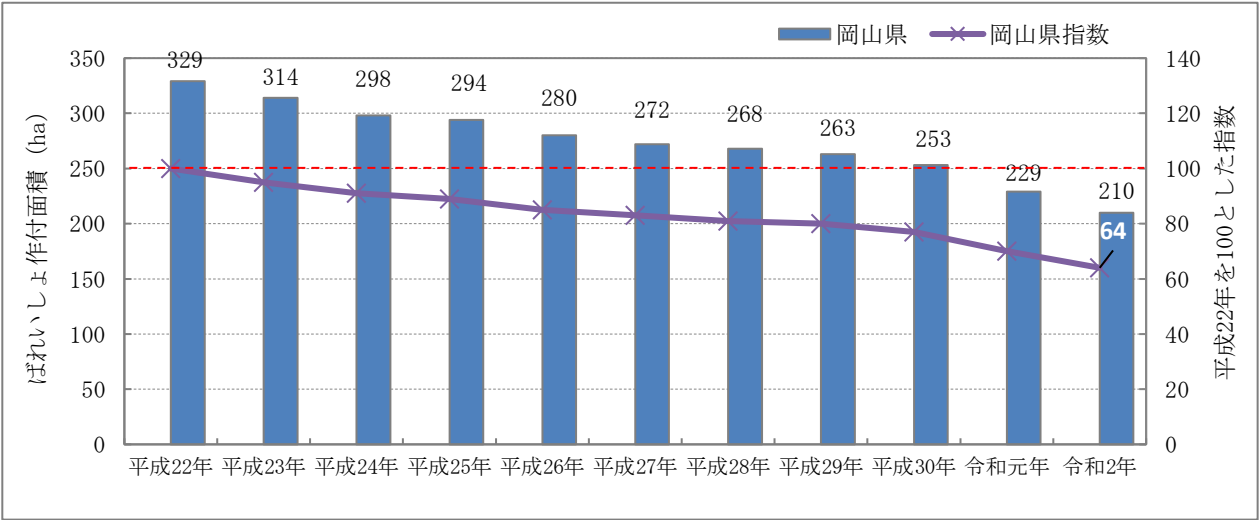


図-4.31 ばれいしょの作付面積の推移と動向（岡山県）

### 4.5.9 さといも

関係市町のさといもの作付面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体のさといもの作付面積は、平成22年(2010年)の117haから令和元年(2019年)の61haへと、9年間で56ha減少(48%)であった。(表-4.24、図-4.32 参照)

表-4.24 さといもの作付面積と指数(岡山県)

(単位:ha)

市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	117	117	112	89	88	88	87	...	...	61	...
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	100	96	76	75	75	74	-	-	52	-

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

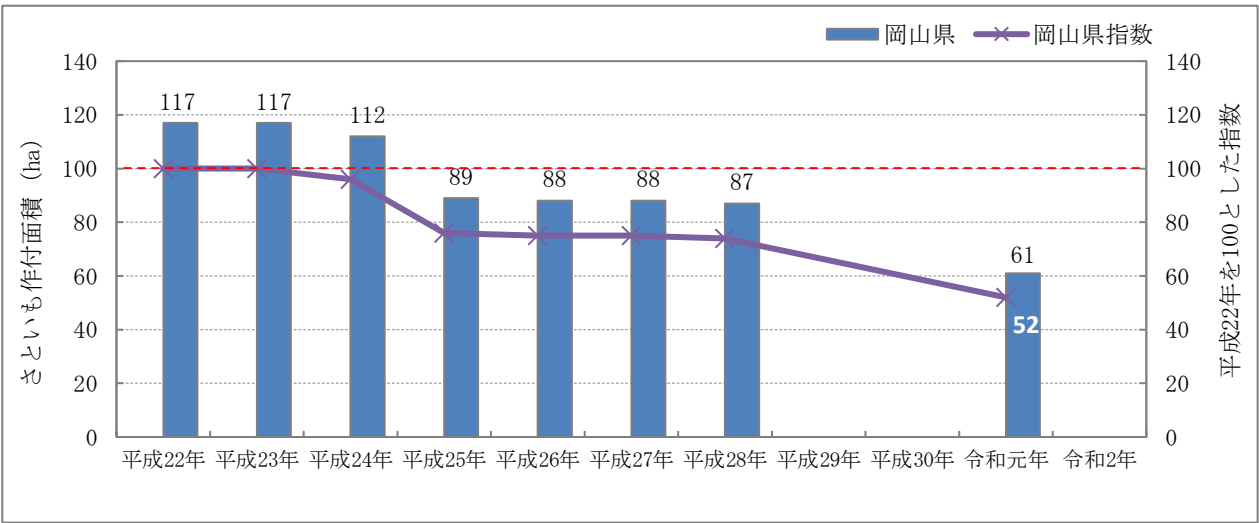


図-4.32 さといもの作付面積の推移と動向(岡山県)



### 4.5.10 トマト

関係市町のトマトの作付面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体のトマトの作付面積は、平成22年（2010年）の125haから令和2年（2020年）の99haへと、10年間で26ha減少（21％）であった。（表-4.25、図-4.33 参照）

表-4.25 トマトの作付面積と指数（岡山県）

(単位:ha)

市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	125	121	118	114	115	114	118	117	115	104	99
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	97	94	91	92	91	94	94	92	83	79

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

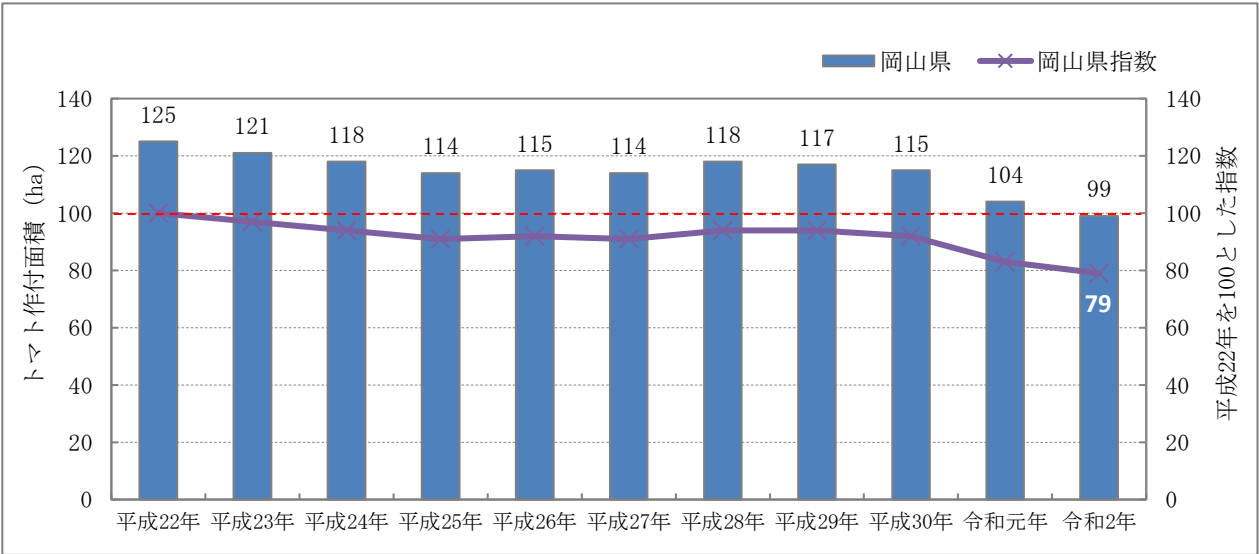


図-4.33 トマトの作付面積の推移と動向（岡山県）

#### 4.5.11 いちご

関係市町のいちごの作付面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体のいちごの作付面積は、平成22年（2010年）の59haから令和元年（2019年）の41haへと、9年間で18ha減少（31%）であった。（表-4.26、図-4.34 参照）

表-4.26 いちごの作付面積と指数（岡山県）

（単位：ha）

市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	59	...	...	54	...	...	53	...	...	41	...
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	-	-	92	-	-	90	-	-	69	-

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

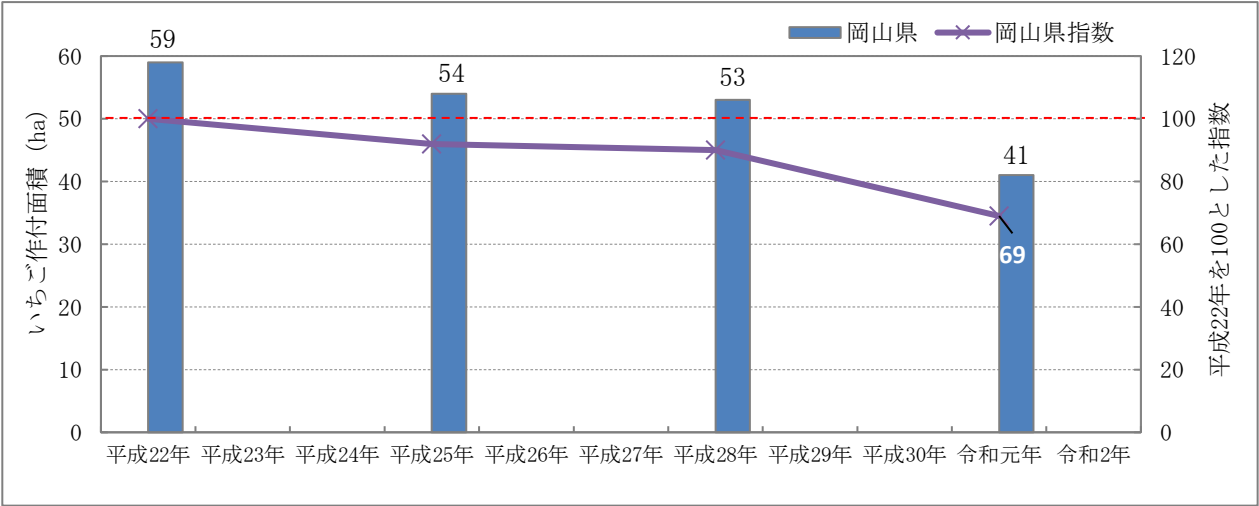


図-4.34 いちごの作付面積の推移と動向（岡山県）

#### 4.5.12 ぶどう

関係市町のぶどうの作付(栽培)面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体のぶどうの作付面積は、平成22年(2010年)の1,230haから令和2年(2020年)の1,220haへと、10年間で10ha減少(1%)であり、作付けが安定していることがうかがえる。(表-4.27、図-4.35 参照)

表-4.27 ぶどうの作付(栽培)面積と指数(岡山県)

(単位:ha)

市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	1,230	1,230	1,220	1,220	1,210	1,200	1,210	1,210	1,220	1,220	1,220
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	100	99	99	98	98	98	98	99	99	99

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

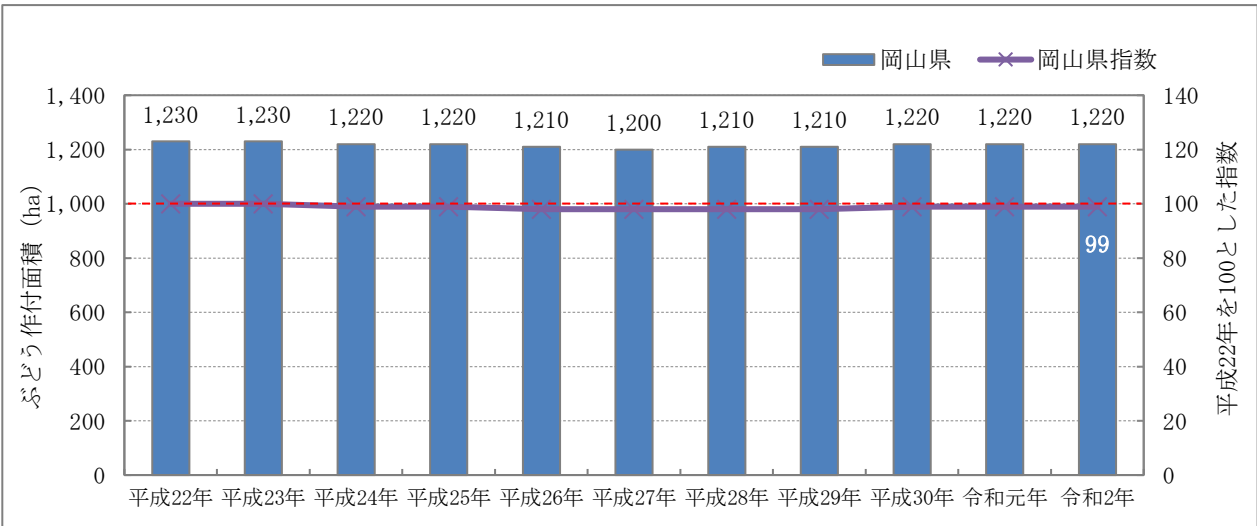


図-4.35 ぶどうの作付(栽培)面積の推移と動向(岡山県)

4.5.13 みかん

関係市町のみかんの作付(栽培)面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体のみかんの作付面積は、平成22年(2010年)の150haから令和2年(2020年)の104haへと、10年間で46ha減少(31%)であった。(表-4.28、図-4.36 参照)

表-4.28 みかんの作付(栽培)面積と指数(岡山県)

		(単位:ha)										
市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	150	148	145	139	133	126	124	...	...	...	104
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	99	97	93	89	84	83	-	-	-	69

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

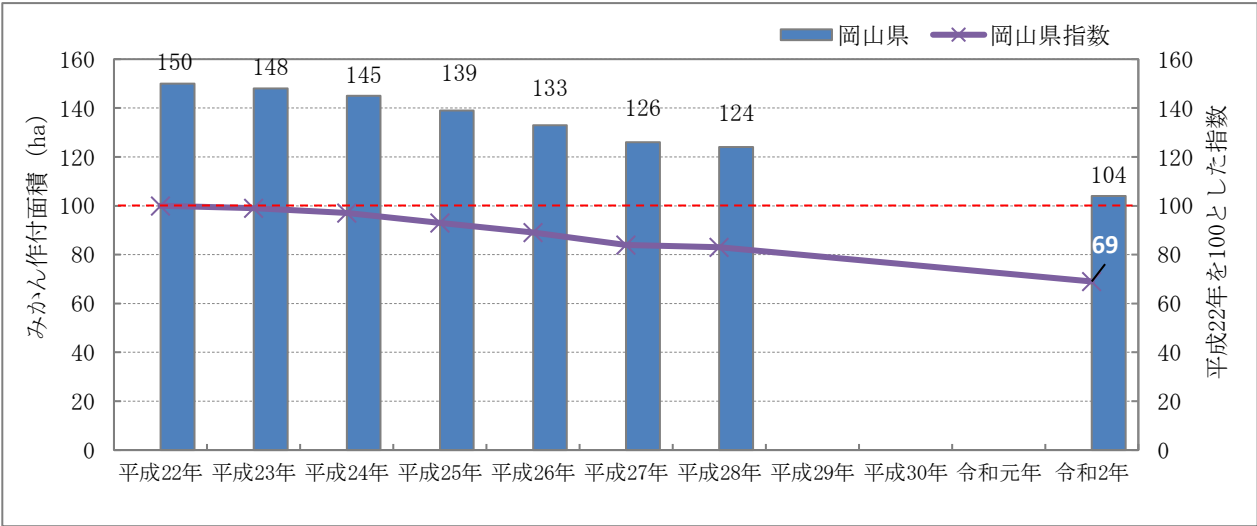


図-4.36 みかんの作付(栽培)面積の推移と動向(岡山県)

4.5.14 牧草

関係市町の牧草の作付面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体の牧草の作付面積は、平成 22 年（2010 年）の 2,830ha から令和 2 年（2020 年）の 2,780ha へと、10 年間で 50ha 減少（2%）であった。

傾向としては、最近 10 年間で継続して徐々に減少傾向にあるが、依然として主要作物として 2,800ha 程度を維持している。（表-4.29、図-4.37 参照）

表-4.29 牧草の作付面積と指数（岡山県）

		(単位:ha)										
市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	2,830	2,970	2,950	2,900	2,850	2,880	2,870	2,830	...	...	2,780
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	105	104	102	101	102	101	100	-	-	98

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

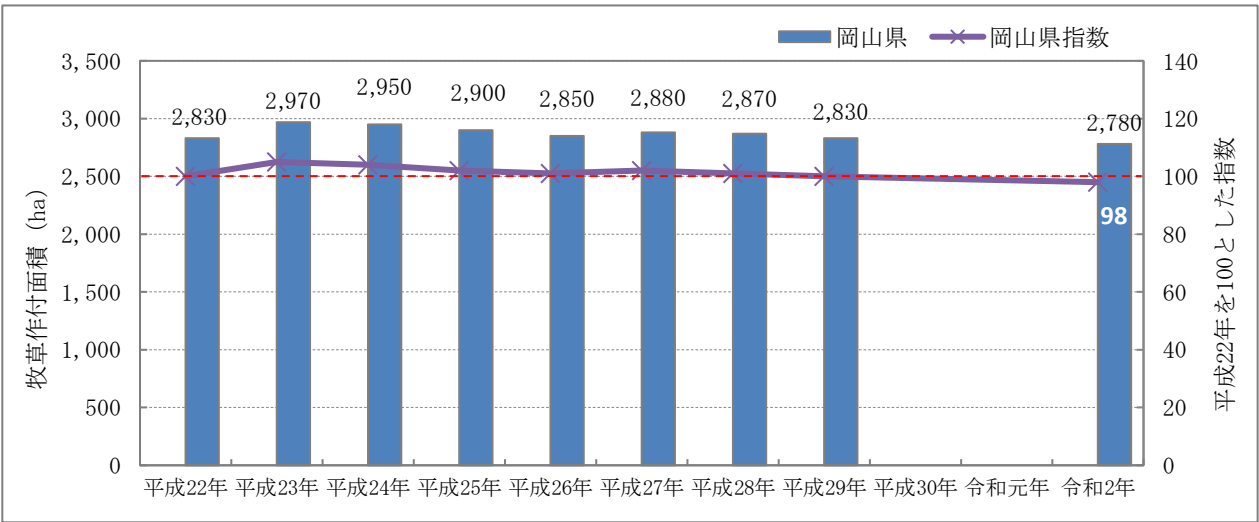


図-4.37 牧草の作付面積の推移と動向（岡山県）

#### 4.5.15 青刈りとうもろこし

関係市町の青刈りとうもろこしの作付面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体の青刈りとうもろこしの作付面積は、平成 22 年（2010 年）の 667ha から令和 2 年（2020 年）の 620ha へと、10 年間で 47ha 減少（7%）であった。（表-4.30、図-4.38 参照）

表-4.30 青刈りとうもろこしの作付面積と指数（岡山県）

（単位：ha）

市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	667	643	631	645	628	615	567	567	...	...	620
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	96	95	97	94	92	85	85	-	-	93

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

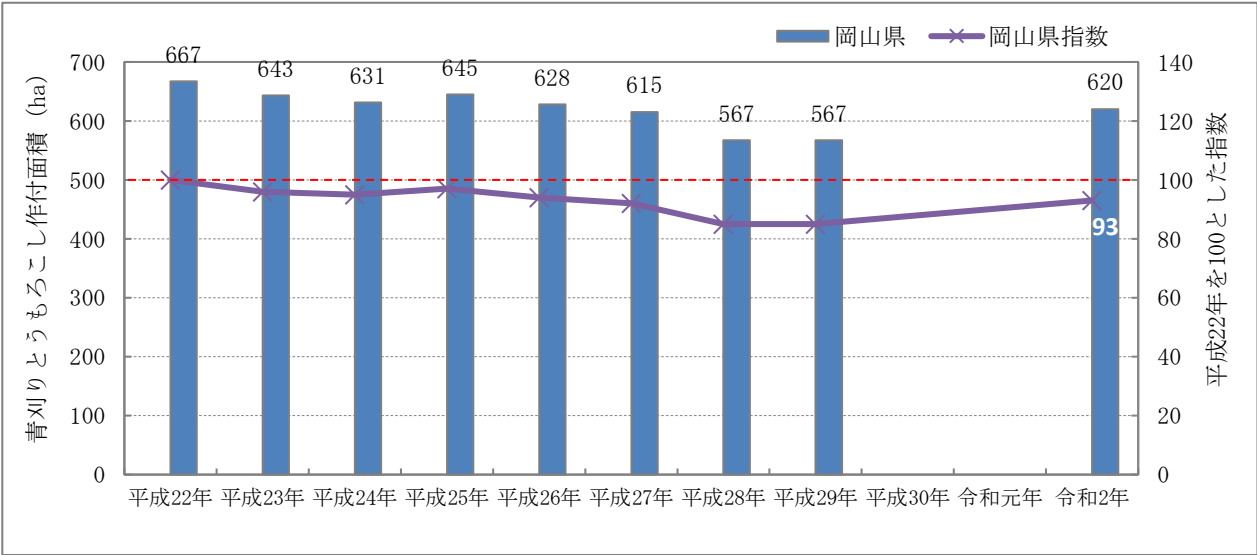


図-4.38 青刈りとうもろこしの作付面積の推移と動向（岡山県）

#### 4.5.16 ソルゴー

関係市町のソルゴの作付面積は、市町別データが公表されていないため不明であるが、岡山県全体のソルゴの作付面積は、平成 22 年（2010 年）の 344ha から令和 2 年（2020 年）の 256ha へと、10 年間で 88ha 減少（26%）であった。（表-4.31、図-4.39 参照）

表-4.31 ソルゴの作付面積と指数（岡山県）

（単位：ha）

市町村名		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
作付面積	岡山市											
	備前市											
	瀬戸内市											
	赤磐市											
	和気町											
	関係市町合計											
	岡山県	344	320	318	316	314	307	315	265	...	...	256
H22年を100とした指数	関係市町合計											
	岡山県	100	93	92	92	91	89	92	77	-	-	74

※岡山農林水産統計年報、中国農林水産統計年報、中国四国農林水産統計データ集、作物統計調査  
市町別のデータが公表されていない。

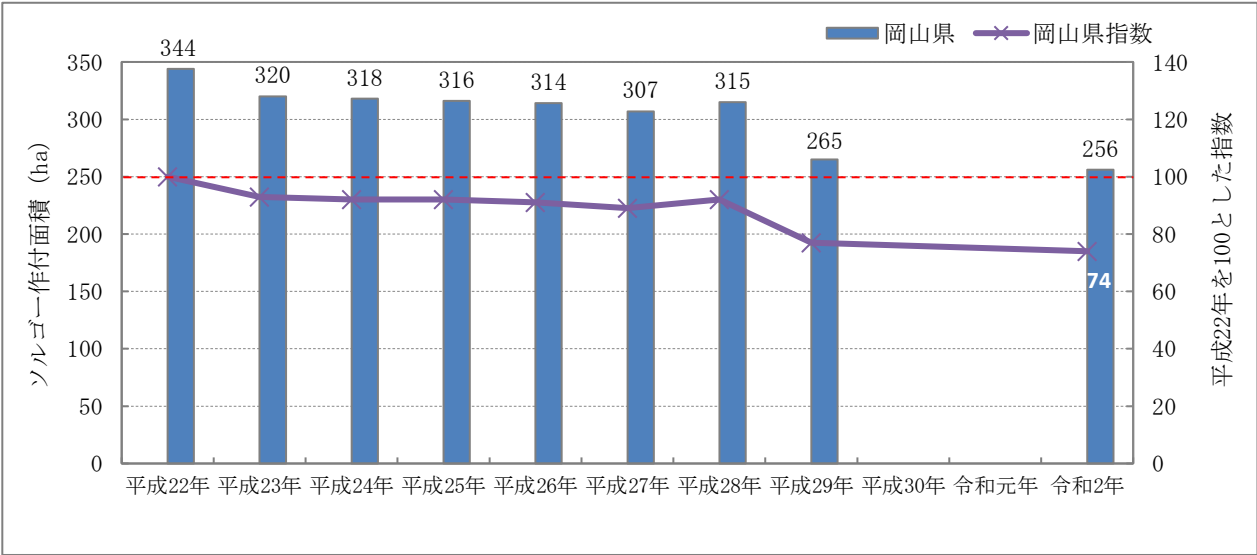


図-4.39 ソルゴの作付面積の推移と動向（岡山県）

## 4.6 参考資料

### 4.6.1 地域経済の動向

関係市町の農業産出額は、平成27年（2015年）の33,330百万円から令和2年（2020年）の34,960百万円へと、5年間で1,630百万円増加（5%）であった。

農業出荷額と同期間の関係市町の製造品出荷額等は、平成27年（2015年）の1,635,862百万円から令和2年（2020年）の1,620,372百万円へと、5年間で15,490百万円減少（1%）であった。

関係市町の経済が岡山県全体に占める割合は、農業産出額は平成27年の25%（33,330百万円/132,200百万円）から令和2年の25%（34,960百万円/141,400百万円）、製造品出荷額等については平成27年の21%（1,635,862百万円/7,788,634百万円）から令和2年の23%（1,620,372百万円/7,060,138百万円）と微増傾向にある。（表-4.32、図-4.40、図-4.41 参照）

関係市町の農業産出額は、岡山県全体の約1/4を占め、食料供給基地として重要な位置付けにある。

表-4.32 農業産出額、製造品出荷額等、商品販売額（関係市町、岡山県）

（単位：百万円）

区分			年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
農 業 産 出 額	関係市町 合 計	金額 ①		30,930	33,330	37,170	38,890	35,760	35,570	34,960	33,410
		平成27年を100とした指数		93	100	112	117	107	107	105	100
	岡山県	金額 ②		123,500	132,200	144,600	150,500	140,100	141,700	141,400	145,700
		平成27年を100とした指数		93	100	109	114	106	107	107	110
	県内の割合 ①/②			25%	25%	26%	26%	26%	25%	25%	23%
製 造 品 出 荷 額 等	関係市町 合 計	金額 ①		1,505,241	1,635,862	1,616,308	1,643,961	1,734,837	1,752,913	1,620,372	※現時点 未公表 (2022年 経済構造 実態調査)
		平成27年を100とした指数		92	100	99	100	106	107	99	
	岡山県	金額 ②		8,255,666	7,788,634	7,091,936	7,603,182	8,354,250	7,704,136	7,060,138	
		平成27年を100とした指数		106	100	91	98	107	99	91	
	県内の割合 ①/②			18%	21%	23%	22%	21%	23%	23%	

※農業産出額：岡山農林水産統計年報（岡山県：平成22～28年、市町村別：平成26～27年）

中国四国農林水産統計年報（岡山県：平成29年、市町村別：平成28～29年）

中国四国農林水産統計データ集（平成30年～令和2年）

参）平成22～25年の関係市町合計は該当データなし

製造品出荷額等：平成22年工業統計調査（平成22年実績）

平成24年経済センサス活動調査（製造業に関する集計） ※平成23年分の集計

平成24年工業統計調査（平成24年実績）～平成26年工業統計調査（平成26年実績）

平成28年経済センサス活動調査（製造業に関する集計） ※平成27年分の集計

平成29年工業統計調査（平成28年実績）～2020年工業統計調査（2019年実績）

令和3年経済センサス活動調査（製造業に関する集計） ※令和2年分の集計